

1 林業関係基本指標

項目	単位	昭和55年	平成3年	8	13	14	15	16	17	18
① 国内総生産	億円	2,409,692	4,682,344	5,042,619	4,977,197	4,913,122	4,902,940	4,983,284	5,017,345	5,089,251
林業	〃	8,260	6,626	8,340	8,037	6,621	5,767	5,265	4,464	4,757
林業 / 総生産	%	0.34	0.14	0.17	0.16	0.13	0.12	0.11	0.09	0.09
② 就業者総数	万人	5,536	6,369	6,557	6,412	6,330	6,316	6,329	6,356	6,382
林業	〃	19	11	8	7	6	6	6	6	6
林業 / 総就業	%	0.34	0.17	0.12	0.11	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09
③ 国土面積	万ha	3,777	3,777	3,778	3,779	3,779	3,779	3,779	3,779	3,779
④ 森林面積	〃	2,528	2,521	2,515	2,515	2,512	2,512	2,512	2,512	2,512
森林 / 国土	%	67.8	67.6	67.5	67.5	67.4	67.4	67.4	67.4	67.4
⑤ 保安林面積	万ha	732	833	863	905	920	1,019	1,133	1,165	1,176
保安林 / 森林	%	29.0	33.0	34.3	36.0	36.6	40.6	45.1	46.4	46.8
⑥ 森林蓄積	億m3	25	31	35	35	40	40	40	40	40
⑦ 木材(用材)需要(供給)量	万m3	10,896	11,220	11,233	9,125	8,813	8,719	8,980	8,586	8,679
国内生産量	〃	3,456	2,800	2,249	1,676	1,608	1,616	1,656	1,718	1,762
輸入量	〃	7,441	8,420	8,984	7,449	7,205	7,104	7,325	6,868	6,917
木材(用材)自給率	%	31.7	25.0	20.0	18.4	18.2	18.5	18.4	20.0	20.3
⑧ 新設住宅着工戸数	万戸	127	137	164	117	115	116	119	124	129
木造率	%	59.2	45.5	45.9	44.5	43.8	45.1	45.5	43.9	43.3

資料：①内閣府「国民経済計算」、②総務省「労働力調査」、③国土交通省「全国都道府県市区町村別面積調」

④⑤⑥林野庁「業務資料」、⑦「木材需給表」、⑧国土交通省「建築着工統計」

注1：国土面積には北方四島の面積が含まれる。森林面積には北方四島の面積は含めていない。

2：森林/国土の割合における国土面積には、北方四島を含めていない。

3：保安林面積は、実面積の数値。

4：木材(用材)需要(供給)量、国内生産量及び輸入量は、丸太換算の数値。

2 経済活動別国内総生産(名目)

(単位：十億円)

項目	平成3年	8	13	14	15	16	17	18
国内総生産	468,234	504,262	497,720	491,312	490,294	498,328	501,735	508,925
産業	441,798	471,569	461,336	456,455	455,640	460,259	465,356	466,706
農林水産業	10,839	9,697	8,463	8,443	8,282	8,053	7,628	7,438
林業	663	834	804	662	577	527	446	476
鉱業	1,102	863	631	570	562	481	488	505
製造業	124,508	117,193	104,084	101,272	102,757	105,410	107,877	108,603
パルプ・紙	3,422	3,444	3,039	2,776	2,813	2,822	2,922	2,569
製材・木製品	1,563	1,442	1,130	1,046	987	993	960	879
建設業	44,945	41,126	35,538	33,893	32,333	32,954	31,861	32,148
電気・ガス・水道業	11,979	13,518	13,849	13,400	12,834	12,727	12,051	11,433
卸売・小売業	65,904	75,444	69,779	67,722	66,240	67,734	69,065	68,722
金融・保険業	24,817	31,391	31,916	33,482	34,141	33,648	34,940	35,218
不動産業	49,676	54,403	58,826	59,311	59,639	59,841	60,100	60,460
運輸・通信業	31,283	35,372	34,575	34,501	34,353	34,277	33,612	33,419
サービス業	76,746	92,563	103,675	103,861	104,500	105,135	107,733	108,760
その他	26,436	32,693	36,384	34,857	34,654	38,069	36,379	42,219

資料：内閣府「国民経済計算」

注：総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入によるものである。

3 林業産出額

(単位：千万円)

項	目	平成3年	8	13	14	15	16	17	18
林業産出額		95,551	78,374	48,842	45,722	44,842	43,461	41,677	43,216
木材生産		69,648	53,261	27,387	23,380	23,142	22,048	21,023	21,708
針葉樹		51,684	44,827	22,693	19,379	19,543	18,776	17,741	18,389
す		20,080	19,463	10,499	8,979	9,264	9,250	8,753	9,259
広葉樹		17,281	8,103	4,501	3,859	3,452	3,158	3,171	3,219
薪炭生産		878	759	872	756	755	649	609	560
栽培きのこ類生産		23,955	23,312	20,257	21,313	20,665	20,364	19,850	20,705
林野副産物採取		1,069	1,042	326	273	279	400	196	243
生産林業所得		68,389	55,106	31,744	29,106	28,301	26,394	24,560	24,878

資料：農林水産省「生産林業所得統計報告書」（平成3、8、13～17年）、「平成18年 林業産出額」（平成18年）
注：総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入によるものである。

4 我が国の森林資源の現況

(単位：千ha、万m³)

区分	総数		立木地				無立木地		竹林面積
	面積	蓄積	人工林		天然林		面積	蓄積	
			面積	蓄積	面積	蓄積			
総数	25,121	404,012	10,361	233,804	13,349	170,086	1,255	122	156
国有林	7,838	101,129	2,411	36,824	4,770	64,209	656	97	0
林野庁所管	7,641	98,961	2,384	36,419	4,633	62,445	624	97	0
国有林	7,524	97,163	2,289	34,649	4,630	62,424	604	90	0
官行造林	107	1,791	95	1,770	3	21	10	0	0
対象外森林	10	6	0	0	0	0	10	6	0
その他省庁所管	197	2,169	28	405	137	1,764	32	0	0
民有林	17,283	302,883	7,949	196,980	8,579	105,877	598	26	156
公有林	2,796	43,301	1,232	25,483	1,426	17,802	133	16	5
都道府県	1,200	17,450	476	9,021	665	8,419	59	11	0
市町村・財産区	1,596	25,851	756	16,462	762	9,383	73	5	5
私有林	14,440	259,035	6,705	171,244	7,126	87,782	461	10	149
対象外森林	46	548	12	254	27	294	4	0	3

資料：林野庁業務資料

注1：森林法第2条第1項に規定する森林の数値である。

2：「無立木地」は、伐採跡地、未立木地である。

3：更新困難地は天然林に含む。

4：対象外森林とは、森林法第5条に基づく地域森林計画及び同法第7条2に基づく国有林の地域別の森林計画の対象となっている森林以外の森林をいう。

5：平成14年3月31日現在の数値である。

6：総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入によるものである。

5 民有林・国有林別の重視すべき機能に応じた森林の3区分の面積

(単位：千ha)

		育成単層林	育成複層林	天然生林	その他	計	割合
水土保持林	小計	6,964	652	8,014	661	16,291	66%
	民有林	5,383	333	5,640	480	11,836	48%
	国有林	1,581	320	2,374	182	4,455	18%
森林と人との共生林	小計	455	78	2,218	488	3,239	13%
	民有林	308	24	761	93	1,187	5%
	国有林	146	54	1,457	395	2,052	8%
資源の循環利用林	小計	2,883	162	2,079	213	5,337	21%
	民有林	2,237	93	1,709	175	4,214	17%
	国有林	646	69	370	38	1,123	5%
合計		10,301	893	12,311	1,362	24,868	100%

資料：林野庁業務資料

注1：森林法第5条及び第7条の2に基づく森林計画対象森林の面積である。

2：その他は、竹林及び無立木地である。

3：割合は、合計の値に対する割合である。

4：平成14年3月31日現在の数値である。

5：総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入によるものである。

6 都道府県別森林面積

(単位：千ha)

都道府県	総数	人工林	天然林	無立木地	竹林	都道府県	総数	人工林	天然林	無立木地	竹林
全国	25,121	10,361	13,349	1,255	156	三重	376	233	134	7	2
北海道	5,548	1,517	3,666	364	0	滋賀	206	83	114	7	1
青森	636	272	345	19	0	京都	344	130	203	5	6
岩手	1,175	504	611	59	0	大阪	58	28	27	2	2
宮城	418	202	201	14	2	兵庫	563	240	307	13	3
秋田	840	409	406	25	0	奈良	284	173	107	3	1
山形	670	183	441	46	0	和歌山	364	221	137	4	2
福島	972	345	575	51	1	鳥取	258	140	109	6	3
茨城	190	116	64	8	2	島根	528	205	300	12	10
栃木	354	160	180	13	1	岡山	485	198	271	11	5
群馬	423	183	213	26	1	広島	614	198	401	13	2
埼玉	123	60	61	1	1	山口	433	193	223	6	11
千葉	163	64	78	15	6	徳島	313	194	112	5	2
東京	79	35	39	5	0	香川	88	27	55	4	2
神奈川	95	37	54	4	1	愛媛	401	247	139	12	4
新潟	865	164	565	134	2	高知	595	389	195	7	4
富山	285	53	170	61	1	福岡	223	143	58	11	11
石川	287	102	165	18	2	佐賀	110	73	27	7	2
福井	313	125	178	8	1	長崎	244	105	126	10	3
山梨	348	153	173	21	1	熊本	465	284	148	22	11
長野	1,061	446	544	69	2	大分	454	241	173	26	13
岐阜	866	387	437	40	1	宮崎	589	357	215	12	5
静岡	500	285	188	23	4	鹿児島	590	303	255	15	16
愛知	221	141	73	4	3	沖縄	104	13	84	7	0

資料：林野庁業務資料

注1：本表は森林法第2条第1項に規定する森林の数値である。

2：「無立木地」は、伐採跡地、未立木地である。

3：平成14年3月31日の数値である。

4：総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入によるものである。

7 人工造林面積

(単位：ha)

		平成3年	8	13	14	15	16	17	18
総数		61,694	46,018	32,457	30,089	28,898	28,466	28,576	28,515
民 有 林	民有林計	51,795	40,687	28,428	27,259	24,974	24,964	25,584	23,872
	私営	25,418	19,576	14,856	15,130	14,473	13,976	14,325	13,985
	公営計	26,377	21,111	13,572	12,129	10,501	10,988	11,259	9,887
	森林整備法人等	7,915	4,405	1,519	1,069	830	616	464	293
	緑資源機構	6,597	6,609	5,316	5,362	4,665	4,602	5,202	4,428
	市町村	5,242	4,028	2,659	1,652	1,421	2,051	1,950	1,825
	都道府県	6,623	6,069	4,078	4,046	3,585	3,719	3,643	3,341
国有林		9,899	5,331	4,029	2,830	3,924	3,502	2,992	4,643

資料：林野庁業務資料

注1：国有林には、林野庁所管以外の国有林は含めていない。

2：森林整備法人等とは、森林整備法人及び林業公社である。

3：人工造林面積は、治山事業や自力等によるものを含めた面積であり、育成複層林施業（人工林）における樹下植栽等の面積も含めている。

8 樹種別人工造林面積

(単位：ha)

	総数	針葉樹					広葉樹
		スギ	ヒノキ	マツ類	カラマツ	その他	
平成3年	(51,795) 48,357	(15,740) 15,135	(21,942) 20,534	(521) 485	(3,646) 3,604	(5,956) 4,875	(3,990) 3,724
8	(40,687) 37,469	(11,140) 10,783	(17,488) 16,342	(188) 176	(2,203) 2,143	(5,328) 4,336	(4,340) 3,689
13	(28,428) 25,395	(7,037) 6,711	(10,005) 8,961	(227) 213	(2,439) 2,420	(5,063) 4,045	(3,657) 3,045
14	(27,259) 23,730	(6,190) 5,902	(9,110) 8,187	(223) 186	(2,439) 2,341	(5,296) 4,280	(4,001) 2,834
15	(24,974) 21,635	(5,363) 5,078	(7,571) 6,765	(279) 261	(2,516) 2,467	(5,274) 4,188	(3,971) 2,876
16	(24,964) 21,270	(5,203) 4,884	(6,957) 6,017	(211) 190	(3,281) 3,162	(5,561) 4,256	(3,751) 2,761
17	(25,584) 22,498	(5,216) 5,011	(7,096) 6,307	(226) 183	(3,534) 3,423	(5,728) 4,611	(3,784) 2,963
18	(23,872) 21,048	(4,845) 4,579	(5,998) 5,225	(512) 229	(3,521) 3,340	(4,888) 4,327	(4,108) 3,348

資料：林野庁業務資料

注1：民有林の樹種別人工造林面積であり、国有林は含まない。

2：上段（ ）書きは、育成複層林施業における樹下植栽等を含む面積である。

9 人工林の齢級別面積

(単位：千ha)

	1 齢級	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
昭和60年	604	895	1,263	1,691	1,762	1,569	947	337	240	205	178	137	111	83	148				
平成元年	436	700	943	1,351	1,691	1,746	1,413	777	270	224	183	151	118	93	79	52	62		
6	278	421	699	937	1,336	1,686	1,719	1,388	735	262	213	172	139	112	86	67	105		
13	131	226	350	589	874	1,149	1,599	1,677	1,522	946	353	204	171	144	112	89	62	52	70

資料：林野庁業務資料

注1：数値は各年度末のもの。

2：昭和60年は15齢級を、平成元年、6年は17齢級を、平成13年は19齢級を最大齢級としており、それ以上の齢級は最大齢級にまとめている。

3：森林法第5条及び第7条の2に基づく森林計画対象森林の「立木地」の面積である。

10 間伐面積及び間伐材の利用状況

		平成3年度	8	13	14	15	16	17	18	
民有林	間伐面積 (千ha)	244	215	302	314	312	277	281	282	
	利用された間伐材積 (万m ³)	計	208	185	277	279	283	284	284	324
		製材	148	130	196	190	185	184	181	196
		丸太	37	33	40	44	50	45	41	48
	原材料	23	22	41	45	48	55	62	80	

資料：林野庁業務資料

注1：間伐材積は丸太材積に換算した量である。

2：製材とは、建築材、梱包材等である。

3：丸太とは、足場丸太、支柱等である。

4：原材料とは、木材チップ、おがくず等である。

11 林道開設(新設)量

(単位:km)

				平成3年度	8	13	14	15	16	17	18
民 有 林 道	補 助 林 道	国 庫 補 助	一般林道	1,140	822	650	582	540	467	387	323
			道整備交付金	-	-	-	-	-	-	15	94
			農 免	15	5	2	1	1	1	1	1
			公 団	54	53	36	27	29	20	13	17
			林 構	226	145	40	26	18	13	6	0
			山 振	15	10	7	7	6	4	1	2
		その他	10	2	16	9	8	4	1	0	
		小 計	1,460	1,037	751	652	602	509	425	437	
		県単独補助	202	307	174	153	147	103	76	73	
		計	1,662	1,344	925	805	749	611	501	510	
融 資 林 道				4	1	0	0	0	0	0	
自 力 林 道				11	58	36	46	31	24	12	16
合 計				1,677	1,403	961	851	779	635	513	526
国 有 林 林 道				517	160	82	44	63	56	138	130
総 計				2,194	1,563	1,043	895	842	691	651	656
林道舗装実績				1,446	1,686	1,233	1,043	927	695	567	528

資料: 林野庁業務資料

注: 四捨五入により、計が一致しない場合がある。

12 保安林の種類別面積

(単位:千ha)

区 分	合 計	国有林	民有林
水 源 かん 養 保 安 林	8,870	5,556	3,314
土 砂 流 出 防 備 保 安 林	2,493	1,066	1,427
土 砂 崩 壊 防 備 保 安 林	57	19	38
飛 砂 防 備 保 安 林	16	4	12
防 風 保 安 林	57	23	34
水 害 防 備 保 安 林	1	0	1
潮 害 防 備 保 安 林	13	5	8
干 害 防 備 保 安 林	121	50	71
防 雪 保 安 林	0	0	0
防 霧 保 安 林	62	9	53
な だ れ 防 止 保 安 林	19	5	14
落 石 防 止 保 安 林	2	0	2
防 火 保 安 林	0	0	0
魚 つ き 保 安 林	54	8	46
航 行 目 標 保 安 林	1	1	0
保 健 保 安 林	696	355	341
風 致 保 安 林	28	13	15
合 計	12,491	7,116	5,375
(実 面 積)	11,763	6,764	4,999

資料: 林野庁業務資料

注1: 平成19年3月31日現在の数値である。

2: 同一箇所でも2種類以上の保安林に指定されている場合、それぞれの保安林に計上している。

3: 総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入によるものである。

13 気象災害、林野火災

		平成3年	8	13	14	15	16	17	18
気象災害	被害面積 (ha)	78,773	6,341	5,031	32,264	3,242	48,144	2,516	17,565
	風 害	70,444	670	28	16,969	207	44,492	364	14,758
	水 害	292	63	69	55	599	812	526	183
	雪 害	5,886	2,723	4,166	14,370	2,101	2,394	920	2,451
	干 害	231	2,373	593	413	196	133	656	104
	凍 害	335	490	176	201	121	250	48	66
	潮・雹害	1,585	22	-	256	17	63	3	2
林野火災	出火件数(件)	2,535	4,339	3,007	3,343	1,810	2,592	2,215	1,576
	焼損面積 (ha)	2,739	2,420	1,773	2,634	726	1,568	1,116	829
	被害額(億円)	6	15	11	14	3	8	9	1

資料：林野庁業務資料、消防庁業務統計

注1：気象災害は、私・公有林の被害である。

注2：林野火災は、私・公、国有林（林野庁所管外のものも含む。）の被害である。

14 森林国営保険事業実績

	年度末契約保有高			損害補填補償額			
	件数 (件)	面積 (千ha)	責任保険金額 (百万円)	件数 (件)	面積 (ha)	損害額 (百万円)	支払額 (百万円)
平成3年度	102,107	1,078	947,544	4,645	1,076	800	590
8	128,773	1,125	916,512	2,414	824	584	318
13	136,760	1,197	1,163,883	5,329	1,609	2,240	990
14	203,691	1,319	1,448,373	3,836	1,257	1,575	627
15	217,128	1,394	1,567,539	3,692	1,235	1,316	684
16	202,809	1,367	1,540,609	3,709	1,060	1,647	888
17	184,670	1,296	1,345,535	7,543	2,161	3,622	2,246
18	173,911	1,223	1,219,051	12,774	4,235	7,847	4,032

資料：林野庁業務資料

15 野生動物による森林被害

(単位：千ha)

	合計	サル	ノネズミ	ノウサギ	カモシカ	シカ	イノシシ	クマ
平成3年度	7.6	0.0	0.7	1.7	1.9	2.8	0.3	0.2
8	9.8	0.0	0.3	1.1	1.7	5.7	0.6	0.4
13	8.3	1.1	0.5	0.6	1.3	4.0	0.5	0.5
14	7.1	0.1	0.3	0.5	1.1	4.3	0.4	0.3
15	7.3	0.1	0.2	0.4	1.1	4.5	0.5	0.5
16	7.4	0.1	0.8	0.4	1.0	3.9	0.7	0.7
17	5.8	0.1	0.3	0.3	0.8	3.5	0.4	0.4
18	5.2	0.1	0.2	0.3	0.8	3.0	0.3	0.5

資料：林野庁業務資料

注1：国有林（林野庁所管）、民有林の合計である。

注2：林地内の被害である。

16 松くい虫被害材積

(単位：千m3)

	昭和52年度	54	57	62	平成4	9	14	15	16	17	18
被害材積	809	2,433	1,467	1,140	1,126	811	915	797	733	689	644

資料：林野庁業務資料

注：国有林（林野庁所管）、民有林の合計。

17 森林・林業に関する専門技術者

	平成4年度	9	14	15	16	17	18	19
林業技士	6,391	7,566	8,598	8,844	9,099	9,322	9,665	9,872
森林インストラクター	113	663	1,589	1,816	2,046	2,261	2,417	2,573
樹木医	—	553	994	1,120	1,244	1,362	1,451	1,571

資料：林野庁業務資料、林業技士は（社）日本森林技術協会調べ

注1：林業技士：森林土木等の技術的業務に関する専門知識の実践。平成19年度は、平成20年1月末現在の数値である。

2：森林インストラクター：一般の人々に、森林や林業に関する知識の提供、森林の案内、森林内の野外活動の指導等。

3：樹木医：「ふるさとのシンボル」として親しまれている巨樹・古木林等の保護や樹勢回復・治療等。

平成19年度は、平成20年1月末現在の数値である。

18 森林・林業関係の教育機関数

区 分	学 校 数
森林・林業関係学科(科目)をもつ高等学校	72
森林・林業関係学科(科目)をもつ短期大学	1
森林・林業関係学科(科目)をもつ大学 (うち国立大学)	26 (22)
森林・林業関係学科(科目)をもつ 都道府県立農林大学校	6

資料：林野庁業務資料

注：平成19年4月現在の数字。

19 所有形態別林野面積

	平成17年	
	所有林野面積 (ha)	比率 (%)
総 数	17,514,627	100.0
私 有	13,636,315	77.9
公 有	3,335,905	19.0
都 道 府 県	1,218,262	7.0
森 林 整 備 法 人	467,909	2.7
市 区 町 村	1,358,887	7.8
財 産 区	290,847	1.7
緑 資 源 機 構	542,407	3.1

資料：農林水産省「2005年農林業センサス」

注1：数値には、東京都三宅村は含まない。

2：総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入によるものである。

20 林業経営体（林家）の林業経営

項 目	単位	平成 15年度 平均	平成 16年度 平均	平均	平成17年度				平成 18年度 平均
					保有山林規模別 (ha)				
					20-50	50-100	100-500	500-	
林業粗収益	千円	2,751	2,497	2,396	1,189	1,531	3,759	64,287	2,603
立木販売収入	〃	384	300	266	44	261	526	1,335	409
素材生産収入	〃	2,002	1,786	1,667	830	980	2,961	39,226	1,635
その他	〃	365	412	464	315	290	272	23,726	559
林業経営費	千円	2,235	2,081	2,109	889	1,262	3,398	65,573	2,125
雇用労賃	〃	428	379	339	43	146	498	19,805	345
原木費	〃	245	230	248	87	99	29	23,256	308
機械修繕費	〃	212	201	208	120	130	133	11,079	209
賃借料・料金	〃	259	202	195	123	154	313	2,066	194
請負わせ料金	〃	645	613	707	255	413	1,864	1,699	626
その他	〃	447	455	409	261	320	561	7,670	…
林業所得	千円	516	417	287	300	269	361	-1,286	478
投下労働量	時間	1,030	943	924	662	624	1,574	10,224	632
家族	〃	529	496	426	529	356	412	1,361	447
雇用労働	〃	231	202	183	32	82	327	8,131	185
請負わせ作業	〃	270	245	315	101	186	835	732	-

資料：農林水産省「林業経営統計」

注1：2000年世界農林業センサスによる保有山林面積50ha以上で林木に係る施業を行っている林家、又は保有山林面積が20ha以上50ha未満で、過去1年間の林木に係る施業労働日数が30日以上林家1戸あたりの平均値である。

2：林業粗収益＝現金収入＋林産物の林業外仕向額＋林産物の在庫増加（減少）額

3：林業粗収益のその他とは、特用林産物収入や受託収入等である。

4：林業経営費＝現金支出＋減価償却費＋処分差損益＋生産資材の在庫減少（増加）額

5：雇用労賃には、労働災害保険を含む。

6：林業経営費のその他とは、種苗費、肥料費、薬剤費、諸材料費、器具費、建物維持費、企画管理費、負債利子、租税公課諸負担等である。

7：林業所得＝林業粗収益－林業経営費

8：総額と内訳の計が一致しないのは四捨五入によるものである。

21 林業事業体（会社）の林業経営

項 目	単位	平成7年度	12	13	14	15	16
営業収益	万円	24,299	19,362	17,754	16,550	18,806	17,240
林業事業営業収益	〃	12,444	10,806	10,166	8,711	8,672	8,051
林業事業外営業収益	〃	11,856	8,556	7,588	7,839	10,134	9,190
営業費用	〃	24,169	19,357	17,817	16,586	18,654	17,416
林業事業営業費用	〃	12,671	11,382	10,791	9,153	8,747	8,331
林業事業外営業費用	〃	11,498	7,975	7,026	7,433	9,908	9,085
営業利益	〃	130	5	▲63	▲36	152	▲176
育林・素材生産部門別就業延べ日数	人日	2,689	2,294	2,249	1,999	1,986	1,900
育林	〃	1,333	1,195	1,187	1,070	1,085	1,013
素材生産	〃	1,356	1,099	1,062	929	901	887
作業量・生産量	-	-	-	-	-	-	-
植林面積	10a	168	193	181	144	132	132
保育延べ面積	〃	2,019	2,415	2,174	1,967	2,089	1,856
素材生産量	m ³	4,834	4,759	4,703	4,389	4,834	5,110
営業収益	万円	19,617	17,331	17,722	16,323	10,216	11,335
林業事業営業収益	〃	9,098	6,606	6,237	5,236	5,117	5,484
林業事業外営業収益	〃	10,519	10,726	11,485	11,086	5,099	5,851
営業費用	〃	19,713	17,471	17,838	16,436	10,232	11,442
林業事業営業費用	〃	9,581	7,135	6,778	5,567	5,382	5,819
林業事業外営業費用	〃	10,132	10,337	11,060	10,868	4,850	5,623
営業利益	〃	▲96	▲140	▲117	▲113	▲16	▲106
林業事業就業延べ日数	人日	1,348	1,016	979	989	924	1,023
素材生産	〃	1,348	1,016	979	989	924	1,023
作業量・生産量	-	-	-	-	-	-	-
素材生産量	m ³	4,602	3,834	3,715	3,922	4,078	5,066

資料：農林水産省「林業組織経営体経営調査」

注1：委託を受けて育林若しくは素材生産を行う事業所又は立木を購入して素材生産を行う事業所のうち会社組織である1事業体当たりの平均値である。

2：営業収益＝林業事業営業収益＋林業事業外営業収益

3：営業費用＝林業事業営業費用＋林業事業外営業費用

4：営業利益＝営業収益－営業費用

5：育林・素材生産会社とは、素材生産業又は素材生産サービス業と育林サービス業を併せ行う会社をいう。

6：素材生産会社とは、素材生産業又は素材生産サービス業を行う会社をいう。

22 林業機械の普及台数

(単位:台)

		平成3年度	8	13	14	15	16	17	18	対前年増減 (▲)率(%)
高性能 林業 機械	フェラーバンチャ	44	50	38	32	27	27	25	33	32.0
	ハーベスタ	34	252	386	394	408	433	442	502	13.6
	プロセッサ	105	596	877	895	911	949	1,002	1,042	4.0
	スキッド	42	116	166	165	152	157	163	152	▲ 6.7
	フォワーダ	52	284	565	581	617	652	722	828	14.7
	タワーヤード	33	180	185	186	182	182	174	175	0.6
	スイングヤード	—	—	160	194	226	284	340	419	23.2
	その他の高性能林業機械	—	—	25	29	31	42	41	58	41.5
	小 計	310	1,478	2,402	2,476	2,554	2,726	2,909	3,209	10.3
在来型 林業 機械	大型集材機	10,180	9,199	7,554	7,172	6,541	6,344	6,009	5,794	▲ 3.6
	小型集材機	9,935	8,550	7,034	6,614	6,222	5,802	5,460	5,240	▲ 4.0
	チェーンソー	360,447	326,169	292,758	290,929	272,556	260,240	245,998	233,064	▲ 5.3
	刈払機	369,569	354,846	333,339	333,053	318,699	311,113	298,718	286,295	▲ 4.2
	トラクタ	4,626	3,992	3,239	3,134	2,908	2,667	2,630	2,593	▲ 1.4
	運材車	26,715	24,520	21,208	20,772	19,843	19,167	18,083	15,765	▲ 12.8
	モノレール	1,757	1,433	936	869	891	891	859	907	5.6
	動力枝打機	9,673	12,290	12,086	11,916	11,235	10,578	10,077	9,440	▲ 6.3
	自走式搬器	1,422	1,849	1,998	1,983	1,881	1,791	1,757	1,710	▲ 2.7

資料：林野庁業務資料

注1：国有林野事業で所有する林業機械を除く。

注2：平成10年度以前は、タワーヤードの台数に、スイングヤード(油圧ショベルをベースマシンに集材用ウインチを搭載した機械)を含む。

23 総人口及び就業者数

(単位：万人)

	総人口	就 業 者 数				う ち 雇 用 者 数				
		全産業 総 数	農林業	う ち 林 業	非農林業	全産業 総 数	農林業	う ち 林 業	非農林業	う ち 製 造 業
平成3年	12,398	6,369	391	11	5,977	5,002	30	8	4,972	1,357
8	12,544	6,486	330	8	6,155	5,322	35	6	5,287	1,307
13	12,715	6,412	286	7	6,126	5,369	38	5	5,331	1,185
14	12,740	6,330	268	6	6,063	5,331	39	4	5,292	1,131
15	12,758	6,316	266	6	6,050	5,335	39	4	5,296	1,091
16	12,767	6,329	264	6	6,064	5,355	36	4	5,319	1,066
17	12,766	6,356	259	6	6,097	5,393	36	4	5,356	1,059
18	12,761	6,382	250	6	6,132	5,472	42	4	5,430	1,082

資料：総務省「労働力調査」

注1：日本標準産業分類の改訂に伴い、平成15年以降の製造業の結果は14年以前の結果と時系列接続していない。

注2：表章単位未満の位で四捨五入してある。また、総数に分類不能又は不詳の数を含むため、総数と内訳の合計とは必ずしも一致しない。

24 産業別、年齢階層別就業者数

(単位:万人)

	総数	15歳～ 19歳	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65歳 以上
全産業	6,382	96	478	662	739	706	655	639	680	790	426	510
農業	244	1	4	6	7	8	10	15	20	29	29	114
林業	6	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
鉱業	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
建設業	559	5	28	51	68	64	52	54	69	85	45	39
製造業	1,161	14	71	115	142	145	128	119	132	155	73	66
その他	4,409	76	375	490	522	489	465	451	458	519	278	290

資料：総務省「労働力調査」（平成18年）

注1：平成18年の平均値である。

2：表章単位未満の位で四捨五入してある。また、総数に分類不能又は不詳の数を含むため、総数と内訳の合計は必ずしも一致しない。

25 林業への新規就業者の就業先

(単位:人)

	平成3年度	8	13	14	15	16	17	18
総数	—	1,513	2,290	2,211	4,334	3,538	2,843	2,421
民間事業体	—	358	883	867	1,363	1,204	1,149	1,176
森林組合	—	1,155	1,407	1,344	2,971	2,334	1,694	1,245

資料：林野庁業務資料

26 労働災害の度数率・強度率等

		平成3年	8	13	14	15	16	17	18
度数率	調査産業計	5.21	4.15	3.70	3.51	3.40	3.89	3.34	2.95
	林業	28.84 (8.45)	28.47 (6.90)	35.28 (-)	53.07 (-)	44.55 (-)	46.22 (-)	46.32 (-)	33.52 (-)
	鉱業	5.35	3.77	3.44	2.67	3.20	1.91	2.48	1.96
	製造業	5.03	4.62	3.72	3.56	3.35	4.11	3.50	3.58
	総合工事業	2.27	1.25	1.61	1.04	1.61	1.77	0.97	1.55
強度率	調査産業計	0.45	0.44	0.30	0.38	0.36	0.18	0.32	0.14
	林業	6.47 (0.56)	3.57 (0.10)	3.60 (-)	9.97 (-)	1.49 (-)	1.94 (-)	1.73 (-)	0.71 (-)
	鉱業	2.49	1.78	0.99	0.11	2.93	0.58	0.68	0.04
	製造業	0.37	0.34	0.23	0.45	0.44	0.18	0.30	0.15
	総合工事業	0.54	0.61	0.47	0.28	0.25	0.57	0.14	0.37
労働損失 日数 死傷者一 人平均 (日)	調査産業計	86.6	105.7	82.2	109.3	106.8	45.0	94.9	47.2
	林業	224.4 (66.30)	125.5 (14.20)	101.9 (-)	187.9 (-)	33.5 (-)	41.9 (-)	37.4 (-)	21.1 (-)
	鉱業	465.9	473.2	286.6	42.5	917.2	303.1	274.1	20.6
	製造業	73.9	73.5	61.8	126.6	132.7	44.3	85.1	41.5
	総合工事業	240.0	487.4	293.3	272.7	156.1	320.5	147.7	239.3

資料：厚生労働省「労働災害動向調査報告」

注1：度数率＝労働災害による死傷者数÷延実労働時間数×1,000,000

2：強度率＝労働損失日数÷延実労働時間数×1,000

3：死傷者1人平均労働損失日数＝労働損失日数÷労働災害による死傷者数

4：常用労働者30～99人の民・国・公営事業所（事務・管理部門のみの事業所を除く）における数値である。
ただし、総合工事業については、労働者災害補償保険の概算保険料が160万円以上又は請負金額が1億9,000万円以上の工事現場（ただし、平成11年3月31日以前に保険関係が成立した総合工事業については労働者災害補償保険の概算保険料が100万円以上又は工事の請負金額が1億2,000万円以上の工事現場）とする。

5：（ ）は林業の常用労働者100人以上の国・公営事業所における数値である。

6：調査産業は、林業、鉱業、建設業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、運輸・通信業、卸売・小売業、飲食店（飲食店を除く。）、サービス業のうち洗濯業、旅館、ゴルフ場、自動車整備業、機械修理業、建物サービス業及び廃棄物処理業である。

7：調査産業計には、建設業のうち総合工事業を含まない。

27 森林組合の事業活動等

		平成2年	7	12	13	14	15	16	17	対前年増減 (▲)率(%)
森林組合数(A)		1,642	1,455	1,174	1,073	990	970	905	846	▲ 6.5
組合員数(千人)		1,751	1,718	1,669	1,658	1,645	1,635	1,625	1,618	▲ 0.4
1組合当たり払込済出資金(千円)		21,912	29,765	42,133	47,207	51,833	52,727	57,218	61,261	7.1
主要 事業量	新植面積(ha)	45,417	35,183	25,648	24,785	21,866	20,304	19,335	18,818	▲ 2.7
	丸太生産量(千m ³)	3,282	3,088	2,835	2,715	2,504	2,506	2,681	2,818	5.1
作業班	設置組合数(B)	1,284	1,148	939	878	831	825	784	737	▲ 6.0
	(B)÷(A)(%)	78	79	80	82	84	85	87	87	0.0

資料：林野庁「森林組合統計」

28 森林組合の主要事業別の取扱高

(単位:百万円)

年 度	販売・林産	加 工	購 買	森林造成	そ の 他	合 計
平成2	124,173	35,430	21,843	143,102	35,836	360,385
7	102,287	40,709	20,956	186,772	38,246	388,970
12	77,555	40,441	16,434	167,376	40,325	342,131
13	68,351	38,074	16,077	160,762	41,232	324,495
14	60,801	36,484	14,470	151,581	40,869	304,205
15	61,746	37,098	13,732	143,381	45,115	301,072
16	60,357	36,587	13,235	124,644	43,414	278,237
17	57,190	34,290	12,221	111,287	40,685	255,673

資料：林野庁「森林組合統計」

29 丸太生産量

(単位:千m³,%)

		平成3年	8	13	14	15	16	17	18	対前年増減 (▲)率(%)	
総 数		25,901	20,940	15,774	15,092	15,171	15,615	16,166	16,609	2.7	
樹 種 別	針 葉 樹	計	17,226 (67)	16,620 (79)	12,846 (81)	12,420 (82)	12,605 (83)	13,167 (84)	13,695 (85)	14,017 (84)	2.4
		スギ			7,203	6,860	6,989	7,491	7,756	8,059	3.9
	うち、製材用			6,807	6,416	6,458	6,773	6,737	6,753	0.2	
	ヒノキ	2,133	2,080	2,027	2,004	2,014	1,991	▲ 1.1	
	アカマツ・クロマツ			925	889	864	816	783	811	3.6	
	カラマツ・エゾマツ ・トドマツ			2,304	2,334	2,516	2,668	2,910	2,952	1.4	
	そ の 他			281	257	209	188	232	204	▲ 12.1	
	広葉樹	8,675 (33)	4,320 (21)	2,928 (19)	2,672 (18)	2,566 (17)	2,448 (16)	2,471 (15)	2,592 (16)	4.9	
用 途 別	製 材	17,332 (67)	16,154 (77)	11,766 (75)	11,142 (74)	11,214 (74)	11,469 (73)	11,571 (72)	11,645 (70)	0.6	
	合 板	312 (1)	228 (1)	182 (1)	279 (2)	360 (2)	546 (3)	863 (5)	1,144 (7)	32.6	
	木材チップ	8,257 (32)	4,558 (22)	3,826 (24)	3,671 (24)	3,597 (24)	3,600 (23)	3,732 (23)	3,820 (23)	2.4	

資料：農林水産省「木材需給報告書」(平成3年、8年、13年～17年)、「平成18年 木材統計」(平成18年)

注1：()は総数に対する割合である。

2：< >は製材用に対する割合である。

3：生産量には、林地残材は含まれていない。

4：総数は製材用、合板用、木材チップ用の計である。

5：総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入によるものである。

30 木材需給表（丸太換算）

(単位:千m³)

需要 供給	総需要量										国内消費										輸出					
	計	用材					しいたけ 原木	薪炭材	計	用材					しいたけ 原木	薪炭材			計	用材					薪炭材	
		小計	製材用材	パルプ・チップ用材	合板用材	その他用材				小計	製材用材	パルプ・チップ用材	合板用材	その他用材		小計	木炭用材	薪用材		小計	製材品	木材パルプ 木材チップ	合板等	その他		
総計	(7,664)	(7,664)	(7,664)	(7,664)	13,720	3,131	540	981	(7,664)	(7,664)	(7,664)	(7,664)	13,686	3,080	540	971	936	35	882	873	28	758	34	52	10	
丸太	(7,664)	(7,664)	(7,664)	(7,664)					(7,664)	(7,664)	(7,664)	(7,664)														
林地残材	137	137	137	137					137	137	137	137														
輸入木材製品	57,022	57,022	13,464	32,268	8,537	2,753			57,022	57,022	13,464	32,268	8,537	2,753												
しいたけ原木	540						540		540						540											
薪炭材	981						981	971							971	936	35	10							10	
国内生産	計	18,307	17,617	11,645	4,496	1,144	332	540	149	17,432	16,752	11,620	3,738	1,114	281	540	140	123	17	875	866	25	758	30	52	10
丸太	17,480	17,480	11,645	4,359	1,144	332				16,615	16,615	11,620	3,601	1,114	281					866	866	25	758	30	52	
林地残材	137	137		137						137	137	137														
しいたけ原木	540						540		540						540											
薪炭材	149						149	140							140	123	17	10								10
輸入	計	70,005	69,174	21,387	32,412	12,576	2,799		831	69,998	69,167	21,384	32,412	12,572	2,799					831	813	19				
丸太	12,152	12,152	7,923	143	4,039	46				12,145	12,145	7,920	143	4,035	46											
小計	57,022	57,022	13,464	32,268	8,537	2,753			57,022	57,022	13,464	32,268	8,537	2,753												
製材品	13,464	13,464	13,464						13,464	13,464	13,464															
木材パルプ	7,675	7,675		7,675					7,675	7,675		7,675														
木材チップ	24,594	24,594		24,594					24,594	24,594		24,594														
合板等	8,537	8,537			8,537				8,537	8,537			8,537													
その他	2,753	2,753				2,753			2,753	2,753				2,753												
薪炭等	831						831	831							831	813	19									

資料：林野庁「木材需給表」（平成18年）

注1：大中角・盤等の輸入半製品については、「輸入」の「製材品」に含めた。

2：パルプ・チップ用材の（ ）書は、工場残材及び解体材・廃材から生産された木材チップであり、製材用材、合板用材、その他用材に含まれるので、「総需要量」及び「国内消費」の「用材小計」には含めていない。

3：「林地残材」とは、立木を伐採した後の林地に残されている根株、枝条等のうち、利用を目的に工場に搬入されたものである。

4：数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

31 木材需要（供給）量（丸太換算）

(単位:千m³、%)

	総需要 (供給)量	用材	薪炭材	しいたけ 原木	用材部門別				用材供給先別		用材 自給率
					製材用	パルプ・チップ用	合板用	その他用	国産材	外材	
昭和30年	65,206	45,278	19,928	-	30,295	8,285	2,297	4,401	42,794	2,484	94.5
35	71,467	56,547	14,920	-	37,789	10,189	3,178	5,391	49,006	7,541	86.7
40	76,798	70,530	6,268	-	47,084	14,335	5,187	3,924	50,375	20,155	71.4
45	106,601	102,679	2,348	1,574	62,009	24,887	13,059	2,724	46,241	56,438	45.0
50	99,303	96,369	1,132	1,802	55,341	27,298	11,173	2,557	34,577	61,792	35.9
55	112,211	108,964	1,200	2,047	56,713	35,868	12,840	3,543	34,557	74,407	31.7
60	95,447	92,901	572	1,974	44,539	32,915	11,217	4,230	33,074	59,827	35.6
平成2	113,242	111,162	517	1,563	53,887	41,344	14,546	1,385	29,369	81,793	26.4
7	113,698	111,922	721	1,055	50,384	44,922	14,314	2,302	22,916	89,006	20.5
12	101,006	99,263	940	803	40,946	42,186	13,825	2,306	18,022	81,241	18.2
13	92,942	91,247	977	718	37,087	38,706	13,074	2,379	16,759	74,488	18.4
14	89,764	88,127	984	653	34,856	37,607	13,226	2,438	16,077	72,050	18.2
15	88,875	87,191	1,050	634	34,766	36,979	12,810	2,636	16,155	71,036	18.5
16	91,437	89,799	1,028	610	35,041	37,981	13,976	2,802	16,555	73,245	18.4
17	87,423	85,857	1,001	565	32,901	37,608	12,586	2,763	17,176	68,681	20.0
18	88,312	86,791	981	540	33,032	36,907	13,720	3,131	17,617	69,174	20.3

資料：林野庁「木材需給表」

注1：需要（供給）量は、丸太の需要（供給）量と輸入した製材品、合板、パルプ・チップ等の製品を丸太材積に換算した需要（供給）量とを合計したものである。

2：その他は、構造用集成材、加工材、枕木、電柱、くい丸太、足場丸太等である。

3：用材自給率は、国産材用材供給量÷総用材供給量×100である。

4：総計と内訳の計が一致しないのは四捨五入によるものである。

32 国産材・外材別の木材需要（供給）量（丸太換算）

（単位：千m³、％）

		平成3年	8	13	14	15	16	17	18	対前年増減 （▲）率（％）	
総需要（供給）量		114,174	114,217	92,942	89,764	88,875	91,437	87,423	88,312	1.0	
用材		112,203	112,502	91,247	88,127	87,191	89,799	85,857	86,791	1.1	
薪炭材		548	749	977	984	1,050	1,028	1,001	981	▲ 2.0	
しいたけ原木		1,423	967	718	653	634	610	565	540	▲ 4.4	
用材	総数	小計	112,203	112,502	91,247	88,127	87,191	89,799	85,857	86,791	1.1
		国産材	28,000	22,489	16,759	16,077	16,155	16,555	17,176	17,617	2.6
		外材	84,203	90,013	74,488	72,050	71,036	73,245	68,681	69,174	0.7
		自給率（％）	25.0	20.0	18.4	18.2	18.5	18.4	20.0	20.3	0.3
材	製材用	小計	52,230	49,758	37,087	34,856	34,766	35,041	32,901	33,032	0.4
		国産材	17,332	16,154	11,766	11,142	11,214	11,469	11,571	11,645	0.6
		外材	34,898	33,604	25,321	23,714	23,552	23,572	21,330	21,387	0.3
		自給率（％）	33.2	32.5	31.7	32.0	32.3	32.7	35.2	35.3	0.1
部	チップ用・	小計	(7,162)	(6,443)	(6,319)	(7,174)	(7,951)	(7,682)	(7,974)	(7,664)	▲ 3.9
		国産材	44,245	43,822	38,706	37,607	36,979	37,981	37,608	36,907	▲ 1.9
		外材	9,782	5,672	4,509	4,370	4,293	4,249	4,426	4,496	1.6
		自給率（％）	34,463	38,150	34,197	33,237	32,686	33,732	33,181	32,412	▲ 2.3
門	合板用	小計	22.1	12.9	11.6	11.6	11.6	11.2	11.8	12.2	0.4
		国産材	14,216	15,726	13,074	13,226	12,810	13,976	12,586	13,720	9.0
		外材	312	228	182	279	360	546	863	1,144	32.6
		自給率（％）	13,904	15,498	12,892	12,947	12,450	13,430	11,723	12,576	7.3
別	その他用	小計	2.2	1.4	1.4	2.1	2.8	3.9	6.9	8.3	1.4
		国産材	1,512	3,196	2,379	2,438	2,636	2,802	2,763	3,131	13.3
		外材	574	435	302	286	288	291	316	332	5.1
		自給率（％）	938	2,761	2,077	2,152	2,348	2,511	2,447	2,799	14.4
	自給率（％）	38.0	13.6	12.7	11.7	10.9	10.4	11.4	10.6	▲ 0.8	

資料：林野庁「木材需給表」

注1：需要（供給）量は、丸太の需要（供給）量と輸入した製材品、合板、チップ・パルプ等の製品を丸太材積に換算した需要（供給）量とを合計したものである。

2：自給率＝国産材用材供給量÷総用材供給量×100

3：その他用は、構造用集成材、加工材、枕木、電柱、くい丸太、足場丸太等である。

4：（ ）は、製材工場等の残材による木材チップで、外書である。

5：総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入によるものである。

33 我が国への産地別木材（用材）供給量（丸太換算）

（単位：千 m^3 、％）

		平成3年	8	13	14	15	16	17	18
米材	計	(35.2)	(34.3)	(25.9)	(22.6)	(20.6)	(20.1)	(18.8)	(19.0)
	米	39,526	38,557	23,612	19,920	17,984	18,087	16,129	16,501
	カナダ	27,862	24,038	11,459	8,836	7,475	7,355	6,844	6,747
南洋材	ロシア	11,663	14,520	12,152	11,084	10,509	10,733	9,285	9,754
	計	(17.7)	(15.1)	(13.9)	(13.9)	(13.0)	(12.7)	(12.2)	(12.2)
	マレーシア	19,895	17,002	12,714	12,261	11,311	11,424	10,511	10,606
	インドネシア	12,717	7,550	5,877	5,720	5,518	5,635	5,888	6,590
北洋材	その他	5,622	6,826	6,112	5,835	5,155	5,234	4,137	3,556
	その他	1,556	2,628	725	706	637	554	486	460
欧州材	ロシア	(5.4)	(6.3)	(8.0)	(7.8)	(8.5)	(9.5)	(8.6)	(8.9)
	ロシア	6,097	7,101	7,262	6,888	7,426	8,550	7,411	7,705
その他の外材	ヨーロッパ州	(0.5)	(2.3)	(5.3)	(6.0)	(6.4)	(6.8)	(6.9)	(7.5)
	ヨーロッパ州	570	2,631	4,819	5,280	5,597	6,123	5,937	6,480
	ニュージーランド	(3.6)	(4.1)	(4.8)	(4.5)	(4.3)	(3.4)	(3.4)	(3.0)
	ニュージーランド	4,056	4,574	4,401	3,998	3,753	3,086	2,878	2,644
	チリ	(4.2)	(3.8)	(4.4)	(4.1)	(4.6)	(4.3)	(4.6)	(4.6)
	チリ	4,735	4,273	4,058	3,634	3,971	3,889	3,952	4,010
その他の外材	オーストラリア	(4.9)	(6.0)	(8.6)	(10.0)	(9.7)	(10.2)	(10.2)	(10.3)
	オーストラリア	5,457	6,706	7,824	8,771	8,457	9,134	8,729	8,908
	中国	(0.8)	(1.8)	(2.5)	(2.9)	(3.0)	(2.8)	(3.0)	(3.3)
	中国	901	2,020	2,300	2,590	2,648	2,497	2,544	2,897
	その他	(2.6)	(6.4)	(8.2)	(9.9)	(11.3)	(11.6)	(12.3)	(10.9)
その他	2,965	7,150	7,498	8,707	9,887	10,454	10,591	9,422	
外材計		(75.0)	(80.0)	(81.6)	(81.8)	(81.5)	(81.6)	(80.0)	(79.7)
外材計		84,203	90,013	74,488	72,050	71,036	73,244	68,681	69,174
国産材		(25.0)	(20.0)	(18.4)	(18.2)	(18.5)	(18.4)	(20.0)	(20.3)
国産材		28,000	22,489	16,759	16,077	16,155	16,555	17,176	17,617
合計		(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)
合計		112,203	112,502	91,247	88,127	87,191	89,799	85,857	86,791

資料：財務省「貿易統計」、林野庁「木材需給表」

注1：この表の数値は、国産丸太及び輸入丸太の供給量に、丸太材積に換算した輸入製材品、パルプ・チップ、合板等の値を加えて、各国別の供給量を算出したものである。

2：南洋材のその他とは、フィリピン、シンガポール、ブルネイ、パプアニューギニア、ソロモン諸島からの輸入である。

3：欧州材のヨーロッパ州とは、ロシアを除くヨーロッパ各国からの輸入である。

4：その他の外材のその他とは、アフリカ諸国等からの輸入である。

5：総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入によるものである。

6：（ ）は、合計に占める割合である。

34 我が国への製材用木材供給量（丸太換算）

(単位：千m³)

産 地 ・ 国			平成3年	8	13	14	15	16	17	18
輸入製材品	米 材	計	9,463	10,843	6,936	6,081	5,972	6,241	5,187	5,363
		米 国	3,708	2,714	800	567	507	407	268	241
		カ ナ ダ	5,755	8,129	6,136	5,513	5,465	5,834	4,919	5,122
	南洋材	計	1,609	1,401	1,142	1,035	917	641	579	488
		マ レ ー シ ア	1,034	705	523	415	346	316	311	321
		イ ン ド ネ シ ア	463	661	605	606	557	315	259	150
		そ の 他	112	36	13	14	15	10	9	18
	北洋材	ロ シ ア	341	559	946	1,091	1,301	1,576	1,695	1,657
	欧州材	ヨ ー ロ ッ パ 州	6	1,662	3,558	3,872	4,250	4,629	4,528	4,757
	そ の 外 他 材	ニュージーランド	353	388	381	343	311	283	273	281
		チ リ	554	565	693	610	702	710	660	581
		そ の 他	540	770	684	662	637	388	384	337
輸 入 製 材 品 計			12,868	16,188	14,340	13,694	14,088	14,468	13,305	13,464
輸入製材用丸太	米 材	14,941	11,443	6,498	5,855	5,667	5,547	4,927	…	
	南 洋 材	2,228	916	378	305	277	261	237	…	
	北 洋 材	3,371	3,652	3,047	2,733	2,493	2,350	1,938	…	
	ニュージーランド材	1,276	1,112	924	893	855	798	744	…	
	そ の 他	214	293	134	234	172	148	179	…	
輸 入 製 材 用 丸 太 計			22,030	17,416	10,981	10,020	9,464	9,104	8,025	…
国 産 材 製 材 用 丸 太			17,332	16,154	11,766	11,142	11,214	11,469	11,571	11,645
合 計			52,230	49,758	37,087	34,856	34,766	35,041	32,901	19,568

資料：財務省「貿易統計」、農林水産省「木材需給報告書」（平成3年、8年、13～17年）、
「平成18年 木材統計」（平成18年）、林野庁「木材需給表」

注1：輸入製材品の値は、丸太材積に換算したものである。

2：輸入製材用丸太及び国産材製材用丸太は、製材工場に入荷する時点をとらえた調査であり、「木材需給報告書」の値である。

3：南洋材のその他とは、フィリピン、シンガポール、ブルネイ、パプアニューギニア、ソロモン諸島からの輸入である。

4：欧州材のヨーロッパ州とは、ロシアを除くヨーロッパ各国からの輸入である。

5：その他の外材のその他とは、中国、オーストラリア、アフリカ諸国等からの輸入である。

6：総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入によるものである。

35 木材の主な品目別輸入量

(単位:千m³)

		13 (2001)	14 (2002)	15 (2003)	16 (2004)	17 (2005)	18 (2006)	19 (2007)
丸	総 数	13,914	12,663	12,639	12,683	10,654	10,582	8,973
	米 材	4,197	3,925	3,832	3,717	3,453	3,295	2,973
	南洋材	2,082	1,994	1,754	1,617	1,409	1,349	1,054
	北洋材	5,292	4,746	5,105	5,884	4,689	4,966	4,039
	ニュージールランド材	1,649	1,468	1,481	1,124	922	839	813
	チリ材	130	135	155	114	106	52	15
	欧州材	87	126	58	44	36	35	42
	アフリカ材	237	122	121	59	12	10	11
	中国	40	19	17	11	9	6	7
その他	199	129	116	114	18	29	19	
製	総 数	8,980	8,583	8,849	9,123	8,395	8,504	7,354
	米 材	4,401	3,859	3,791	3,963	3,293	3,406	2,705
	南洋材	640	580	513	354	319	269	228
	北洋材	602	694	827	1,002	1,078	1,054	1,017
	ニュージールランド材	243	219	198	180	174	179	168
	チリ材	441	389	447	452	420	370	404
	欧州材	2,261	2,460	2,701	2,941	2,878	3,024	2,637
	アフリカ材	3	1	1	2	1	2	2
	中国	291	286	277	152	155	155	146
その他	99	95	94	77	77	46	48	
品	総 数	4,559	4,663	4,221	4,480	4,118	4,301	3,430
	米 材	158	104	75	50	32	22	36
	南洋材	4,199	4,233	3,856	4,139	3,795	3,876	33,043
	その他	202	326	291	292	291	404	351
合	総 数	4,559	4,663	4,221	4,480	4,118	4,301	3,430
	米 材	158	104	75	50	32	22	36
	南洋材	4,199	4,233	3,856	4,139	3,795	3,876	33,043
	その他	202	326	291	292	291	404	351

資料：財務省「貿易統計」

注1：合板は集成材等の積層木材を含まない。

2：「南洋材」はフィリピン、インドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、シンガポール、ソロモン諸島、ブルネイの7カ国より輸入された材である。

3：「欧州材」は、ロシアを除く全てのヨーロッパ各国より輸入された材である。

4：総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入によるものである。

36 近年の丸太価格

(単位：円/m³)

年・月	スギ中丸太 径14～22cm 長3.65～4.0m 込み	ヒノキ中丸太 径14～22cm 長3.65～4.0m 込み	ベイツガ丸太 径 30cm上 長 6.0m上 込み	バイマツ丸太 径 30cm上 長 6.0m上 込み	ラワン丸太 (製材適材) 径 60cm上 長 4.0m上 製材適材	ラワン丸太 (合単板用) 径 60cm上 長 6.0m上 合板適材	北洋マツ丸太 径 20～28cm 長 3.8m上 込み
平成 15年	14,300	30,900	21,700	26,100	54,700	21,000	15,800
16年	13,500	28,700	22,900	27,200	54,600	20,200	16,500
17年	12,400	25,200	23,500	27,000	55,100	21,100	16,700
18年	12,700	26,300	24,200	28,500	57,300	25,700	18,300
19年	13,000	25,400	26,500	30,100	—	—	22,600
18年 1月	12,600	25,600	24,100	27,600	55,500	22,900	17,000
2月	12,600	25,600	24,000	27,900	56,600	23,100	17,400
3月	12,600	25,100	24,000	28,200	56,800	23,400	18,000
4月	12,400	24,900	23,900	28,200	56,800	23,900	18,000
5月	12,300	25,300	23,900	28,400	57,000	24,300	18,000
6月	12,300	25,600	24,000	28,500	57,000	25,100	18,000
7月	12,400	26,100	24,100	28,600	57,900	25,600	18,100
8月	12,600	27,100	23,900	28,700	58,000	27,000	18,200
9月	12,700	27,400	24,100	28,800	58,000	27,700	18,500
10月	13,000	27,800	24,400	28,800	58,000	28,000	18,900
11月	13,200	27,700	24,500	29,100	58,200	28,700	19,500
12月	13,100	27,200	25,100	29,200	58,200	29,100	20,100
19年 1月	13,000	27,100	25,300	29,900	—	—	21,300
2月	13,300	27,000	26,000	30,000	—	—	21,700
3月	13,300	26,300	26,300	30,000	—	—	22,500
4月	13,300	25,600	26,400	30,100	—	—	23,000
5月	13,300	25,600	26,800	30,100	—	—	23,000
6月	12,900	25,000	26,700	30,300	—	—	22,800
7月	12,600	24,800	26,700	30,500	—	—	23,100
8月	12,800	25,400	26,600	30,400	—	—	23,000
9月	12,900	25,200	26,600	30,300	—	—	22,900
10月	12,900	24,900	26,700	30,000	—	—	22,700
11月	12,800	24,200	26,900	30,000	—	—	22,700
12月	12,400	23,900	26,900	29,800	—	—	22,500

資料：農林水産省「木材価格」

注1：価格は、各工場における工場着購入価格である。

2：価格は、平成17年の推定消費量による加重平均値である。

3：ラワン丸太（製材適材）及びラワン丸太（合単板用）は、平成19年に統計の調査品目から削除された。

また、平成18年の価格は、月ごとの価格の平均値であり、100円未満を四捨五入して算出している。

37 近年の製材品価格

(単位：円/m³、円/枚)

年・月	スギ正角		スギ正角 (乾燥材)		ヒノキ正角		ヒノキ正角 (乾燥材)		ベイツガ正角	ベイマツ平角	北洋エゾ マツ平割	ラワン合板
	厚 幅 長	10.5cm 10.5cm 3.0m	厚 幅 長	10.5cm 10.5cm 3.0m	厚 幅 長	10.5cm 10.5cm 3.0m	厚 幅 長	10.5cm 10.5cm 3.0m	厚 幅 長	10.5~12cm 24.0cm 3.65~4.0m	厚 幅 長	1.2cm 90.0cm 1.80m
			2級		2級		2級		2級	2級	2級	I類(型枠)
15年	41,500		56,800		69,300		83,900		50,600	49,800	45,900	1,080
16年	41,800		57,300		70,300		84,400		52,700	53,500	46,400	1,150
17年	40,700		56,200		66,300		80,300		51,200	52,100	46,400	1,140
18年	40,500		56,400		66,000		79,800		52,900	56,500	49,400	1,390
19年	42,700		60,800		69,700		86,500		—	55,800	—	—
18年 1月	40,200		55,900		65,100		78,700		51,000	53,600	47,000	1,170
2月	40,100		56,000		64,800		78,400		51,600	53,900	47,200	1,180
3月	40,000		56,000		64,700		78,400		51,800	54,200	47,400	1,180
4月	40,000		56,000		64,600		78,400		52,100	54,900	47,400	1,190
5月	40,000		55,900		64,900		78,900		52,000	55,200	47,800	1,240
6月	40,100		55,800		65,000		78,900		52,500	56,100	48,400	1,290
7月	40,000		55,900		64,800		79,100		52,700	56,400	48,400	1,380
8月	40,200		56,200		65,600		79,800		52,800	57,700	48,800	1,460
9月	40,400		56,400		66,500		80,700		53,600	58,500	50,200	1,570
10月	41,000		56,900		67,700		81,200		54,100	58,700	51,400	1,630
11月	41,600		57,700		68,900		82,600		54,800	59,000	53,500	1,660
12月	42,000		58,500		69,100		82,800		55,200	59,200	54,900	1,670
19年 1月	42,300		60,500		70,200		86,600		—	55,700	—	—
2月	42,500		60,500		70,200		86,900		—	56,000	—	—
3月	42,600		60,600		70,200		87,000		—	56,000	—	—
4月	42,900		60,800		70,100		87,200		—	56,000	—	—
5月	43,100		61,100		70,500		87,200		—	56,000	—	—
6月	43,100		61,200		70,200		87,200		—	56,000	—	—
7月	43,000		61,100		69,900		86,800		—	56,000	—	—
8月	42,900		61,000		69,800		86,700		—	56,100	—	—
9月	42,500		60,800		69,300		86,300		—	55,800	—	—
10月	42,400		60,800		69,300		85,700		—	55,700	—	—
11月	42,300		60,500		68,500		85,300		—	55,300	—	—
12月	42,300		60,400		68,300		85,200		—	55,300	—	—

資料：農林水産省「木材価格」

注1：価格は、小売業者への店頭渡し販売価格である。

2：価格は、平成17年の推定消費量による加重平均値である。

3：ベイツガ正角、北洋エゾマツ平割及びラワン合板は、平成19年に統計の調査品目から削除された。

また、平成18年の価格は月ごとの価格の平均値であり、100円未満を四捨五入して算出している。

38 山元立木価格、丸太価格、製材品価格、山林素地価格

(単位：円/m³)

	山元立木価格			丸太価格			製材品価格			全国平均用材林地価格 (10a当たり)
	スギ	ヒノキ	マツ	スギ中丸太 径14~22cm 長3.65~4.0m	ヒノキ中丸太 径14~22cm 長3.65~4.0m	ベイツガ丸太 径30cm上 長6.0m上	スギ正角 厚10.5cm 幅10.5cm 長3.0m	ヒノキ正角 厚10.5cm 幅10.5cm 長3.0m	ベイツガ正角 厚10.5cm 幅10.5cm 長3.0m	
昭和30年	4,478	5,046	2,976	8,200	9,100	—	13,400	20,000	—	8,927
35	7,148	7,996	4,600	11,000	11,700	—	16,900	25,400	—	16,005
40	9,380	10,645	5,743	14,000	17,600	12,800	21,700	34,100	—	20,586
45	13,168	21,352	7,677	18,400	36,600	14,600	33,600	77,000	—	32,705
50	19,726	35,894	10,899	31,000	64,500	24,400	57,900	118,000	40,200	64,797
55	22,707	42,947	11,162	38,700	74,400	34,500	68,900	140,900	58,200	85,990
60	15,156	30,991	7,920	24,900	52,600	25,000	50,000	88,000	45,900	86,820
平成2	14,595	33,607	7,528	26,000	66,000	26,000	58,400	115,400	55,800	83,038
7	11,730	27,607	5,966	21,700	52,200	26,200	55,500	100,100	57,100	75,633
12	7,794	19,297	4,168	17,200	39,300	22,600	46,300	75,400	50,100	68,659
13	7,047	18,659	3,869	15,700	37,000	22,200	43,700	72,700	49,000	66,524
14	5,332	15,571	3,168	14,000	30,800	22,000	41,100	68,800	49,100	63,391
15	4,801	14,291	2,821	14,300	30,900	21,700	41,500	69,300	50,600	62,236
16	4,407	13,924	2,401	13,500	28,700	22,900	41,800	70,300	52,700	60,969
17	3,628	11,988	2,037	12,400	25,200	23,500	40,700	66,300	51,200	59,991
18	3,332	11,024	1,862	12,700	26,300	24,200	40,500	66,000	52,900	58,696
19	3,369	10,508	1,728	13,000	25,400	26,500	42,700	69,700	—	56,993

資料：(財)日本不動産研究所「山林素地及び山元立木価格調」、農林水産省「木材需給累年報告書(平成7年9月)」「昭和30年~平成2年)」、「木材需給報告書」(平成7年~平成17年)、「木材価格」(平成18年、平成19年)

注1：山元立木価格は、利用材積1m³当たり価格である。(各年3月末現在)。

2：丸太価格は、各工場における工場着購入価格である。

3：製材品価格は、小売業者への店頭渡し販売価格である。

4：丸太及び製材品価格は、平成17年の推定消費量による加重平均値である。

5：製材品価格のうちベイツガ正角については、平成18年の価格は月ごとの価格の平均値であり、100円未満を四捨五入して算出している。また、平成19年に、統計の調査品目から削除された。

39 特用林産物の生産量及び生産額

		平成3年	8	13	14	15	16	17	18	対前年増減(▲)率(%)	
食	乾しいたけ	t 百万円	10,168 39,096	6,886 22,235	4,965 12,853	4,449 13,798	4,108 14,834	4,088 14,750	4,091 13,484	3,861 14,359	▲ 5.6 6.5
	生しいたけ	t 百万円	78,047 99,744	75,157 89,287	66,128 68,244	64,442 74,108	65,363 73,075	66,204 68,786	65,186 68,837	66,349 73,514	1.8 6.8
	なめこ	t 百万円	21,738 15,869	22,823 13,945	23,775 11,807	24,818 11,615	25,068 11,030	25,815 10,274	24,801 9,375	25,615 10,681	3.3 13.9
	えのきたけ	t 百万円	95,123 55,076	108,118 46,275	108,444 34,933	110,444 35,121	110,185 31,513	112,997 32,317	114,542 30,583	114,630 36,223	0.1 18.4
	ひらたけ	t 百万円	30,866 19,106	14,369 8,219	6,796 2,888	5,800 2,517	5,210 2,173	4,655 1,955	4,074 1,552	3,384 1,347	▲ 16.9 ▲ 13.2
	ぶなしめじ	t 百万円	36,623 31,716	66,657 48,393	86,551 43,246	83,790 44,912	84,365 43,275	88,066 43,064	99,787 42,310	103,249 48,837	3.5 15.4
	まいたけ	t 百万円	7,950 8,705	27,307 24,931	44,042 32,698	46,843 31,150	45,805 30,048	46,036 29,555	45,111 27,969	45,985 27,959	1.9 ▲ 0.0
	くり	t 百万円	24,194 11,541	20,360 8,877	18,994 6,996	17,774 4,852	16,858 7,165	13,908 4,687	12,370 5,208	14,048 5,914	13.6 13.6
	その他	百万円	87,630	84,418	58,062	63,951	60,684	67,030	59,313	62,844	6.0
	計	百万円	368,483	346,580	271,727	282,024	273,797	272,418	258,631	281,678	8.9
非食	生うるし	kg 百万円	4,982 226	3,190 136	1,729 63	1,553 57	1,388 50	1,402 50	1,340 48	1,326 48	▲ 1.0 0.0
	竹材	千束 百万円	6,568 6,233	3,424 3,479	1,860 1,833	1,477 1,499	1,527 1,489	1,372 1,297	1,290 1,181	1,191 1,070	▲ 7.7 ▲ 9.4
	桐材	m ³ 百万円	13,016 1,158	5,118 434	2,717 220	2,434 197	1,973 159	1,888 151	1,757 141	1,502 120	▲ 14.5 ▲ 14.9
	木炭 (竹炭を含む)	t 百万円	66,588 9,829	66,611 9,093	51,885 5,869	42,250 5,231	39,715 6,682	37,486 5,931	35,029 5,356	32,671 5,036	▲ 6.7 ▲ 6.0
	その他	百万円	2,873	13,959	9,549	10,446	9,945	11,216	11,523	7,931	▲ 31.2
	計	百万円	20,319	27,101	17,534	17,430	18,325	18,645	18,249	14,205	▲ 22.2
合計	百万円	388,802	373,681	289,261	299,454	292,122	293,560	276,880	295,883	6.9	

資料: 林野庁業務資料

40 木材産業の工場数及び生産量

		単位	平成3年	8	13	14	15	16	17	18
製材	製材工場数	工場	16,290	14,028	11,020	10,429	9,920	9,420	9,011	8,482
	製材品出荷量	千m ³	28,549	24,206	15,486	14,402	13,929	13,603	12,825	12,554
合板	合板工場数	工場	517	439	329	306	292	287	271	263
	単板製造用素材入荷量	千m ³	9,200	7,311	4,651	4,724	4,913	5,389	4,636	5,217
	普通合板製造量 (〃)	千m ³ (千m ²)	960,209	643,487	2,771	2,735	3,024	3,149	3,212	3,314
	特殊合板製造量 (〃)	千m ³ (千m ²)	361,260	343,268	1,416	1,240	1,141	1,100	1,037	1,102
木材チップ	木材チップ工場数	工場	4,325	3,335	2,438	2,327	2,201	2,106	2,040	1,971
	木材チップ生産量 (〃)	千トン (千m ³)	16,013	11,204	10,244	11,099	11,880	5,782	6,005	5,899
集成材	集成材企業数	社	280	296	270	258	268	263	259	234
	集成材生産量	千m ³	456	720	1,030	1,173	1,407	1,488	1,512	1,675

資料：農林水産省「木材需給報告書」（平成3年、8年、13年～17年）、「平成18年 木材統計」（平成18年）、日本集成材工業協同組合調べ

注1：工場数は、12月31日現在の工場数（3か月未満休業中のものを含む。）である。

2：製材工場数は、製材用動力の出力数が7.5kw未満の工場を除く。

3：18年の単板製造用素材入荷量は、月別合板統計の1月～12月までの入荷量を集計した数値である。

41 国産材・外材別製材工場数及び製材用素材入荷量

(単位：工場、千m³)

	計		国産材のみ		国産材と外材		外材のみ	
	工場数	入荷量	工場数	入荷量	工場数	入荷量	工場数	入荷量
平成3年	16,260	41,515	6,259	11,086	7,426	14,413	2,575	16,016
8	13,978	35,545	5,892	11,338	5,966	11,035	2,120	13,172
13	10,956	23,879	5,271	9,039	4,251	5,805	1,434	9,035
14	10,395	22,321	5,082	8,738	3,996	5,177	1,317	8,406
15	9,850	21,857	4,995	8,813	3,647	4,967	1,208	8,077
16	9,387	21,705	4,913	9,211	3,370	4,577	1,104	7,917
17	8,955	20,540	4,978	9,704	3,017	3,839	960	6,997
18	8,433	20,342	4,897	9,684	2,670	3,973	866	6,685

資料：農林水産省「木材需給報告書」（平成3年、8年、平成13～17年）、「平成18年 木材統計」（平成18年）

注：工場数は素材の入荷があった工場、かつ製材用動力の出力数が7.5kw以上の製材工場を対象とした。

42 集成材の生産量及び輸入量

(単位：千m³)

	国内生産量								輸入量		
	造作用			構造用					合計	集成材	グルーム
	化粧ばり	無化粧	計	化粧ばり	小断面	中断面	大断面	計			
平成3年	195	129	323	84	9	17	17	127	455	16	18
8	235	145	380	102	142	61	35	340	720	44	231
13	151	98	249	58	391	293	40	782	1,030	107	498
14	138	89	227	48	444	408	46	946	1,173	131	516
15	125	91	217	37	574	526	54	1,191	1,407	184	541
16	126	86	212	36	607	582	52	1,276	1,488	182	611
17	119	83	202	28	646	594	41	1,310	1,512	162	671
18	111	75	186	23	646	791	30	1,490	1,675	165	806

資料：財務省「貿易統計」、日本集成材工業協同組合調べ

注：合計と内訳の計が一致しないのは四捨五入によるものである。

43 プレカット工場数とシェア

	平成3年	8	13	14	15	16	17	18
プレカット工場数	589	874	858	869	871	871	837	847
木造軸組工法住宅のうち プレカットのシェア(%)	11	37	55	58	62	76	79	81

資料：全国木造住宅機械プレカット協会

44 木材市売市場・木材センター数及び取扱量

(単位：千 m^3 (m^3))

		昭和55年	59	平成3	13	
事業所数	計	645	613	624	567	
	木材市売市場	576	556	574	523	
	木材センター	69	57	50	44	
木材市売市場・ 木材センター	素材流通業者	事業所数	509	482	480	425
		素材仕入量	8,622	8,785	9,128	8,907
		1事業所当たり取扱量	(16,939)	(18,226)	(19,017)	(20,958)
	製品流通業者	事業所数	346	315	309	274
		製品販売量	8,224	6,951	7,600	5,092
		1事業所当たり取扱量	(23,769)	(22,067)	(24,595)	(18,584)

資料：農林水産省「木材流通構造調査報告書」

注1：木材市売市場とは、市売売買（定められた日時に、売り手と買い手が「せり」または「入札」によって売買価格を決定する方法）と称される売買方式によって木材の売買を行わせる事業所をいう。

2：木材センターとは、二つ以上の売り手を同一の場所に集め、買手を対象として相対取引によって木材の売買を行わせる事業所をいう。

45 木材販売業者数及び取扱量

(単位：千 m^3 (m^3))

		昭和55年	59	平成3	13	
事業所数	計	18,147	17,085	15,584	10,578	
	卸	4,830	4,887	4,693	-	
	小売	13,317	12,198	10,891	-	
木材販売業者	総数	事業所数	14,702	13,998	13,198	9,695
		製品販売量	33,384	31,051	35,530	21,225
		1事業所当たり取扱量	(2,271)	(2,218)	(2,692)	(2,189)
	国産材	事業所数	13,400	12,792	11,762	8,852
		製品販売量	9,881	10,970	10,188	6,340
		1事業所当たり取扱量	(737)	(858)	(866)	(716)
	外材	事業所数	13,357	12,485	11,616	8,442
		製品販売量	23,503	20,081	25,342	14,886
		1事業所当たり取扱量	(1,760)	(1,608)	(2,182)	(1,763)

資料：農林水産省「木材流通構造調査報告書」

注：木材販売業者とは、木材を購入して販売する事業所をいう。

46 新設住宅着工戸数及び床面積

		平成4年	9	13	14	15	16	17	18	19	対前年 増減(▲) 率(%)
新設住宅着工戸数(戸)	総数	1,402,590	1,387,014	1,173,858	1,151,016	1,160,083	1,189,049	1,236,175	1,290,391	1,060,741	▲ 17.8
	資金別										
	民間資金	853,510	850,416	805,502	876,671	917,384	952,839	1,044,946	1,146,888	960,938	▲ 16.2
	公的資金	549,080	536,598	368,356	274,345	242,699	236,210	191,229	143,503	99,803	▲ 30.5
	利用関係別										
	持家	477,611	478,741	386,814	367,974	372,652	369,852	353,267	358,519	314,865	▲ 12.2
	分譲住宅	217,127	353,436	338,965	323,942	326,639	345,501	369,067	379,181	294,777	▲ 22.3
	貸与住宅	671,989	531,220	438,312	450,092	451,629	464,976	504,294	543,463	441,733	▲ 18.7
	給与住宅	35,863	23,617	9,767	9,008	9,163	8,720	9,547	9,228	9,366	1.5
	構造別										
木造率(%)	(47.8)	(44.1)	(44.5)	(43.8)	(45.1)	(45.5)	(43.9)	(43.3)	(47.6)	9.9	
木造	671,130	611,316	522,823	503,761	523,192	540,756	542,848	559,201	504,546	▲ 9.8	
非木造	731,460	775,698	651,035	647,255	636,891	648,293	693,327	731,190	556,195	▲ 23.9	
工新総設床住面積(千㎡)	総数	120,318	129,181	109,836	104,763	104,038	105,540	106,593	108,815	90,651	▲ 16.7
	資金別										
	民間資金	61,355	67,576	69,350	76,450	80,970	83,130	88,446	95,406	81,595	▲ 14.5
	公的資金	58,964	61,605	40,487	28,313	23,067	22,410	18,147	13,409	9,056	▲ 32.5
	利用関係別										
	持家	65,620	66,808	53,090	50,104	50,307	49,698	47,320	47,778	41,562	▲ 13.0
	分譲住宅	19,620	32,777	33,296	31,348	31,057	32,972	34,995	35,446	28,176	▲ 20.5
	貸与住宅	32,582	27,896	22,745	22,678	22,024	22,289	23,616	24,973	20,290	▲ 18.8
	給与住宅	2,496	1,699	705	632	649	580	662	618	623	0.7
	構造別										
木造率(%)	(57.3)	(53.1)	(52.2)	(52.4)	(54.2)	(54.6)	(53.0)	(53.1)	(56.7)	6.8	
木造	68,884	68,620	57,282	54,908	56,348	57,617	56,494	57,770	51,383	▲ 11.1	
非木造	51,435	60,561	52,555	49,855	47,690	47,923	50,100	51,045	39,268	▲ 23.1	
1床戸面当積(㎡)	総数	85.8	93.1	93.6	91.0	89.7	88.8	86.2	84.3	85.5	1.3
	資金別										
	民間資金	71.9	79.5	86.1	87.2	88.3	87.2	84.6	83.2	84.9	2.1
	公的資金	107.4	114.8	109.9	103.2	95.0	94.9	94.9	93.4	90.7	▲ 2.9
	利用関係別										
	持家	137.4	139.5	137.2	136.2	135.0	134.4	133.9	133.3	132.0	▲ 0.9
	分譲住宅	90.4	92.7	98.2	96.8	95.1	95.4	94.8	93.5	95.6	2.3
	貸与住宅	48.5	52.5	51.9	50.4	48.8	47.9	46.8	46.0	45.9	▲ 0.0
	給与住宅	69.6	71.9	72.2	70.2	70.8	66.5	69.3	67.0	66.5	▲ 0.7
	構造別										
木造	102.6	112.2	109.6	109.0	107.7	106.5	104.1	103.3	101.8	▲ 1.4	
非木造	70.3	78.1	80.7	77.0	74.9	73.9	72.3	69.8	70.6	1.1	

資料：国土交通省「住宅着工統計」

注1：資金別で公的資金と民間資金を併用した住宅は、公的資金に含めて計上した。

注2：総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入によるものである。

47 工法別新設木造住宅着工戸数

(単位：戸、%)

	平成4年	9	14	15	16	17	18	19	対前年増減 (▲)率(%)
木造軸組工法住宅	(86.5)	(81.4)	(79.6)	(80.0)	(79.1)	(78.5)	(77.4)	(77.0)	▲ 10.2
ツーバイフォー工法住宅	(7.9)	(13.0)	(15.7)	(15.6)	(16.8)	(17.7)	(18.8)	(19.5)	▲ 6.5
木質系プレハブ工法住宅	(5.6)	(5.6)	(4.7)	(4.4)	(4.1)	(3.8)	(3.8)	(3.5)	▲ 16.7
合計	671,130	611,316	503,761	523,192	540,756	542,848	559,201	504,546	▲ 9.8

資料：国土交通省「住宅着工統計」

注1：()は、新設木造住宅着工戸数に占める割合である。

注2：四捨五入のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

48 世界各国の森林面積

国名	土地面積 (千ha)	森林面積 (千ha)	人工林面積 (千ha)	森林率 (%)	1人当たり 森林面積 (ha)	国名	土地面積 (千ha)	森林面積 (千ha)	人工林面積 (千ha)	森林率 (%)	1人当たり 森林面積 (ha)
オーストリア共和国	8,273	3,862	—	46.7	0.5	アンゴラ共和国	124,670	59,104	131	47.4	4.2
ベルギー・ルクセンブルグ	3,287	754	303	22.9	0.1	カメルーン共和国	46,540	21,245	—	45.6	1.3
チェコ共和国	7,728	2,648	0	34.3	0.3	コートジボワール共和国	31,800	10,405	337	32.7	0.6
デンマーク王国	4,243	500	315	11.8	0.1	コンゴ民主共和国	226,705	133,610	—	58.9	2.4
フィンランド共和国	30,459	22,500	0	73.9	4.3	エチオピア連邦民主共和国	100,000	13,000	491	11.9	0.2
フランス共和国	55,010	15,554	1,968	28.3	0.3	ケニア共和国	56,914	3,522	202	6.2	0.1
ドイツ連邦共和国	34,895	11,076	0	31.7	0.1	マダガスカル共和国	58,154	12,838	293	22.1	0.7
ギリシャ共和国	12,890	3,752	134	29.1	0.3	マリ共和国	122,019	12,572	—	10.3	1.1
ハンガリー共和国	9,210	1,976	545	21.5	0.2	モザンビーク共和国	78,409	19,262	38	24.6	1.0
アイスランド共和国	10,025	46	29	0.5	0.2	ナイジェリア連邦共和国	91,077	11,089	349	12.2	0.1
アイルランド	6,889	669	579	9.7	0.2	スウェーデン共和国	237,600	67,546	5,404	28.4	2.0
イタリア共和国	29,411	9,979	146	33.9	0.2	タンザニア連合共和国	88,359	35,257	150	39.9	1.0
オランダ王国	3,388	365	4	10.8	0.0	ザンビア共和国	74,339	42,452	75	57.1	4.0
ノルウェー王国	30,625	9,387	262	30.7	2.0	ジンバブエ共和国	38,685	17,540	154	45.3	1.3
ポーランド共和国	30,629	9,192	32	30.0	0.2	アフリカ計	2,962,656	635,412	13,171	21.4	0.7
ポルトガル共和国	9,150	3,783	1,234	41.3	0.4	カンボジア王国	17,652	10,447	59	59.2	0.8
ロシア連邦	1,688,850	808,790	16,962	47.9	5.7	中華人民共和国	932,742	197,290	31,369	21.2	0.1
スロバキア共和国	4,808	1,929	19	40.1	0.4	インド	297,319	67,701	3,226	22.8	0.1
スペイン	49,944	17,915	1,471	35.9	0.4	インドネシア共和国	181,157	88,495	3,399	48.8	0.4
スウェーデン王国	41,162	27,528	667	66.9	3.1	イラン・イスラム共和国	163,620	11,075	616	6.8	0.2
スイス連邦	3,955	1,221	4	30.9	0.2	日本国	36,450	24,868	10,321	68.2	0.2
グレートブリテンおよび北アイルランド連合王国(英国)	24,088	2,845	1,924	11.8	0.0	マレーシア	32,855	20,890	1,573	63.6	0.8
ヨーロッパ計	2,260,180	1,001,394	27,641	44.3	1.4	ミャンマー連邦	65,755	32,222	849	49.0	0.6
アルゼンチン共和国	273,669	33,021	1,229	12.1	0.9	大韓民国	9,873	6,265	1,364	63.5	0.1
ブラジル連邦共和国	845,942	477,698	5,384	57.2	2.7	タイ王国	51,089	14,520	3,099	28.4	0.2
チリ共和国	74,880	16,121	2,661	21.5	1.0	トルコ共和国	76,963	10,175	2,537	13.2	0.1
コロンビア共和国	103,870	60,728	328	58.5	1.3	ベトナム社会主義共和国	32,549	12,931	2,695	39.7	0.2
エクアドル共和国	27,684	10,853	164	39.2	0.8	アジア計	3,097,913	571,577	64,896	18.5	0.1
ペルー共和国	128,000	68,742	754	53.7	2.5	カナダ	922,097	310,134	—	33.6	9.7
ベネズエラ共和国	88,205	47,713	—	54.1	1.8	メキシコ合衆国	190,869	64,238	1,058	33.7	0.6
南アメリカ計	1,753,646	831,540	11,357	47.4	2.3	アメリカ合衆国(米国)	915,896	303,089	17,061	33.1	1.0
オーストラリア	768,230	163,678	1,766	21.3	8.1	北中央アメリカ計	2,143,910	705,849	18,842	32.9	1.4
ニュージーランド	26,799	8,309	1,852	31.0	2.0						
オセアニア計	849,116	206,254	3,865	24.3	6.3	世界計	13,067,421	3,952,025	139,772	30.3	0.6

資料：FAO「The Global Forest Resources Assessment 2005」

注1：OECD加盟国、又は森林面積が1000万ha以上でかつ人口が1000万人以上の国を対象。

2：土地面積（内水面面積を除く）、森林面積は2005年、人口は2004年の数値。

「-」はデータ無し。

49 世界の木材生産量と木材貿易量

(単位：木材パルプは千トン、その他は千m³)

① 木材生産量

地 域		生 産 量					
		丸太	薪炭用材	産業用材	製材	合板等	木質パルプ
世 界 計		3,535,613	1,870,172	1,665,441	424,814	260,058	177,640
大 陸 別	アフリカ	654,859	588,448	66,412	8,893	2,532	2,827
	北米	678,511	47,558	630,953	151,725	62,501	79,226
	中南米	450,516	279,692	170,824	42,894	14,760	16,372
	アジア	1,019,964	788,965	230,999	65,267	98,080	25,554
	ヨーロッパ	669,356	152,671	516,685	146,731	77,869	50,947
	オセアニア	62,407	12,838	49,569	9,304	4,316	2,715

② 木材輸出量

地 域		輸 出 量					
		丸太	薪炭用材	産業用材	製材	合板等	木質パルプ
世 界 計		133,969	4,668	129,301	142,933	83,213	46,040
大 陸 別	アフリカ	4,496	3	4,493	1,850	945	1,100
	北米	14,958	359	14,600	43,604	15,167	16,842
	中南米	2,749	8	2,740	13,608	5,498	9,356
	アジア	8,108	36	8,072	8,064	24,477	3,438
	ヨーロッパ	93,985	4,262	89,723	73,453	35,587	14,594
	オセアニア	9,673	1	9,673	2,354	1,539	709

③ 木材輸入量

地 域		輸 入 量					
		丸太	薪炭用材	産業用材	製材	合板等	木質パルプ
世 界 計		135,085	4,015	131,069	130,479	81,606	45,236
大 陸 別	アフリカ	848	1	847	5,273	1,300	305
	北米	9,676	276	9,399	41,703	22,707	6,608
	中南米	369	7	361	5,473	3,615	2,147
	アジア	59,248	366	58,882	29,562	21,109	17,067
	ヨーロッパ	64,917	3,362	61,555	47,748	32,386	18,761
	オセアニア	27	2	25	746	488	349

資料：FAO「FAOSTAT」（2008年1月28日最終更新で、2008年3月28日現在で有効なもの）

注1：輸出入量における産業用材については、チップ、残材を含む。

2：製材は、枕木を含む。

3：合板等とは、単板、合板、パーティクルボード及びファイバーボードである。

4：合計と内訳の計が一致しないのは四捨五入によるものである。

5：2006年の数値。

50 産業用材の主な生産・輸出入国

(単位:千m³)

主な生産国	生産量	主な輸出国	輸出品	主な輸入国	輸入量
米 国	427,849	ロ シ ア	50,820	中 国	33,239
カ ナ ダ	203,104	米 国	9,638	フィンランド	14,654
ロ シ ア	144,600	ド イ ツ	6,686	日 本	10,582
ブ ラ ジ ル	100,767	ニュージーランド	5,571	オーストリア	9,102
中 国	94,665	カ ナ ダ	4,962	スウェーデン	6,664
世 界 計	1,665,441	世 界 計	129,301	世 界 計	131,069

資料：FAO「FAOSTAT」（2008年1月28日最終更新で、2008年3月28日現在で有効なもの）

注1：2006年の数値。

2：輸出品及び輸入品については、チップ、残材を含む。

3：生産量、輸出品、輸入品について、それぞれ上位5カ国及び世界計を計上した。

51 製材の主な生産・輸出入国

(単位:千m³)

主な生産国	生産量	主な輸出国	輸出品	主な輸入国	輸入量
米 国	93,016	カ ナ ダ	38,997	米 国	40,109
カ ナ ダ	58,709	ロ シ ア	16,091	日 本	8,505
ド イ ツ	24,420	スウェーデン	13,217	中 国	8,108
ブ ラ ジ ル	23,557	チ リ	8,392	イ タ リ ア	7,863
ロ シ ア	22,500	ド イ ツ	8,057	英 国	7,748
世 界 計	424,814	世 界 計	142,933	世 界 計	130,479

資料：FAO「FAOSTAT」（2008年1月28日最終更新で、2008年3月28日現在で有効なもの）

注1：2006年の数値。

2：枕木を含む。

3：生産量、輸出品、輸入品について、それぞれ上位5カ国及び世界計を計上した。

52 合板等の主な生産・輸出入国

(単位:千m³)

主な生産国	生産量	主な輸出国	輸出品	主な輸入国	輸入量
中 国	63,842	カ ナ ダ	12,978	米 国	20,006
米 国	43,902	中 国	9,777	日 本	5,646
カ ナ ダ	18,599	ド イ ツ	7,505	中 国	4,941
ド イ ツ	17,400	マレーシア	7,208	ド イ ツ	4,133
ブ ラ ジ ル	9,121	フ ラ ン ス	4,111	英 国	3,384
世 界 計	260,058	世 界 計	83,213	世 界 計	81,606

資料：FAO「FAOSTAT」（2008年1月28日最終更新で、2008年3月28日現在で有効なもの）

注1：2006年の数値。

2：合板等とは、単板、合板、パーティクルボード及びファイバーボードである。

3：生産量、輸出品、輸入品について、それぞれ上位5カ国及び世界計を計上した。

53 木質パルプの主な生産・輸出入国

(単位:千トン)

主な生産国	生産量	主な輸出国	輸出品	主な輸入国	輸入量
米 国	55,635	カ ナ ダ	10,849	中 国	8,663
カ ナ ダ	23,591	ブ ラ ジ ル	6,294	米 国	6,295
フィンランド	13,067	米 国	5,993	ド イ ツ	4,836
スウェーデン	12,240	スウェーデン	3,354	イ タ リ ア	3,686
ブ ラ ジ ル	11,275	インドネシア	2,861	韓 国	2,423
世 界 計	177,640	世 界 計	46,040	世 界 計	45,236

資料：FAO「FAOSTAT」（2008年1月28日最終更新で、2008年3月28日現在で有効なもの）

注1：2006年の数値。

2：生産量、輸出品、輸入品について、それぞれ上位5カ国及び世界計を計上した。

54 JICAを通じた森林・林業分野の技術協力プロジェクト等

地域	国名	プロジェクト名等	活動の内容
アジア	中国	日中協力林木育種科学技術センター計画プロジェクト 2001/10/18～2008/10/17	中国南方の森林環境を改善するため、新品種の育成と森林遺伝子の保存技術の開発等及びそれらの技術を南方各省へ普及
		日中林業生態研修センター計画プロジェクト 2004/10/18～2009/10/17	6大林業重点事業に関連する人材育成を早急に行うため、林業幹部学院において県レベルの林業関係職員のための研修を実施
	インドネシア	地方マングローブ保全現場プロセス支援 2007/1/17～2010/1/16	マングローブ情報センターの中に、マングローブ保全の現場支援を行うために必要なプロセスを構築
		森林地帯周辺住民イニシアティブによる森林火災予防計画 2006/12/1～2009/11/30	森林保全地域周辺住民が森林消防組織と一体となり、森林火災予防活動が開始されるための活動
	フィリピン	地域住民による森林管理プログラム(CBFMP)強化計画プロジェクト 2004/6/15～2009/6/14	森林保全と持続的な土地利用を行うための住民組織、環境天然資源省及び地方自治体職員の能力向上
	ラオス	森林管理・住民支援プロジェクト 2004/2/10～2009/2/9	住民による森林や土地の保全及び持続的な利用を考慮した森林管理や生産活動の導入
		森林戦略実施促進プロジェクト 2006/4/1～2010/9/30	「森林戦略2020」実施計画の策定とモニタリング、重要政策に関する制度提言などによる、森林セクターの計画・管理能力の強化
	ベトナム	北部荒廃流域天然林回復計画プロジェクト 2003/10/1～2008/9/30	天然林回復のための技術体系の整備と利用者への情報発信
		中部高原地域持続的森林管理・住民支援プロジェクト 2005/6/1～2008/9/30	中部高原地域における住民支援計画推進による持続可能な森林管理体制の整備
	カンボジア	森林分野人材育成計画フェーズⅡ 2005/12/15～2010/12/14	森林官の能力向上を通じ、フィールドプロジェクトサイトにおいて、住民の生活の安定を目的とした持続的な村落資源利用を確保
マレーシア	木材産業の国家品質保証システム及び検査機関設立のための協力 2007/1/1～2008/6/30	木材産業の国家品質保証システムを構築するための人材及び組織能力の確立	
ミャンマー	エーヤーワディ・デルタ住民参加型マングローブ総合管理計画プロジェクト 2007/4/1～2012/3/31	エーヤーワディ・デルタ地域内のプロジェクトが実施された地域における、地域住民とマングローブ林の持続的な共生	
中南米	ブラジル	アマパ州氾濫原における森林資源の持続的利用計画プロジェクト 2005/11/2～2009/5/1	アマパ州氾濫原地域住民の生計向上に資する森林資源の活用方法が改善される活動を実施
	パナマ	アスウェロ半島森林保護区生物多様性保全の為の研究・評価プロジェクト 2005/11/15～2008/11/14	アスウェロ半島の森林保護区における、関連機関及び住民参加による保護区管理計画策定のための情報と手法の蓄積
		アラフエラ湖流域総合管理・参加型村落開発プロジェクト 2006/8/1～2011/7/31	アラフエラ湖の中下流域の村落における、持続的な農林業生産技術の普及
	ニカラグア	住民による森林管理プロジェクト 2006/1/23～2011/1/22	レオン県3市の対象村落における、参加住民による持続的な森林管理活動の促進
	ドミニカ	サバナ・イェグア・ダム上流域の持続的流域管理計画 2006/4/21～2009/3/31	関係機関の流域管理に関する技術力とプロジェクトを運営するための能力向上
	コロンビア	天然林の管理と持続的利用プロジェクト 2007/2/1～2012/1/30	天然林の管理と持続的利用に関する関係機関の能力向上
	アルゼンチン	先住民を通じた森林資源持続的利用プロジェクト 2006/12/1～2009/12/1	フォルモサ州西部の先住民など小規模農林業者による、森林資源の持続的利用のための技術の会得
		CDM植林推進のための技術強化プロジェクト 2007/9/16～2009/9/15	CDM植林関係機関のCDM植林プロジェクト形成の支援能力の強化
チリ	環境回復を考慮した土壌・流域持続的 management コースプロジェクト 2004/11/1～2009/3/31	南南協力を通じた中南米諸国参加国における自然資源及び環境の持続的な管理の促進	
アフリカ	エチオピア	ベレテ・ゲラ参加型森林管理計画フェーズⅡ 2006/10/1～2010/9/30	オロミア州ベレテ・ゲラ地域における、地域住民の参加による持続的な森林管理手法の普及
	ケニア	半乾燥地社会林業強化計画 2004/3/29～2009/3/28	半乾燥地における農地林造成活動の強化
	ガーナ	移行帯地域参加型森林資源管理計画プロジェクト 2004/3/1～2009/3/31	ブロンアハフォ州の5パイロット森林保全区及びその周辺地域において参加型森林資源管理の実施
	セネガル	総合村落林業開発計画プロジェクト 2000/1/15～2008/3/31	村落林業・村落振興モデルの開発と実証、モデル普及と関連機関及び住民リーダーへの訓練
		サムールデルタにおけるマングローブ管理の持続性強化プロジェクト 2005/12/5～2008/3/31	村落民が参加型活動に基づく持続的で普及可能な方法によって、マングローブ林保全及び同資源利用の実施
	ブルキナファソ	コモエ県における住民参加型持続的森林管理計画 2007/6/1～2012/5/31	対象となる4つの指定林において、森林管理住民組織及び住民組織組合を通じて、地域住民による持続的森林管理を目指した活動の実施
	マラウイ	シレ川中流域における村落振興・森林復旧プロジェクト 2007/11/1～2012/10/31	森林の保全・復旧に配慮した各種生産活動が地域住民によって実施されるための能力向上

資料: 林野庁業務資料

注: 平成20年(2008年)3月末日現在実施中のものである。

55 JICAを通じた森林・林業分野の開発調査事例

地域	国名	案件名	協力期間	協力の内容
アジア	中国	首都周辺風砂被害地域植生回復モデル計画調査	2006～2009年度	森林植生回復のための実施計画の策定及びこれに基づく北京・天津風砂源整備事業等の実施
	ベトナム	AR-CDM促進のための能力向上開発調査	2006～2008年度	政府関連機関がベトナムにおいてAR-CDMを推進するために必要なキャパシティ向上と、ベトナムでAR-CDMを推進するための方策の提言
	東ティモール	ラクロ川及びコモロ川流域住民主導型流域管理計画調査	2005～2009年度	流域管理計画、流域管理ガイドラインの策定を通じ、東ティモール国における住民の参加を核にした流域管理の方策を提示する
中南米	チリ	CDM植林に関する能力開発及び促進のための調査	2005～2008年度	CDM植林プロジェクトの実施、特に中小規模土地所有者が関わる案件を促進するために、具体的なプロジェクト形成を通じた関係機関の能力強化

資料: 林野庁業務資料

注: 平成20年(2008年)3月末日現在実施中のものである。

56 森林・林業分野の無償資金協力事例

地域	国名	案件名	交換公文署名日	概要
アジア	ミャンマー	中央乾燥地植林計画	5/5期 2007/6/28	森林の減少が著しく自然回復が困難な中央乾燥地において、計1,500ヘクタールの森林造成を行うもの。

資料: 外務省業務資料

注: 平成20年(2008年)3月末日現在実施中のものである。

57 森林・林業分野の円借款事例

地域	国名	案件名	交換公文署名日	概要	
アジア	インド	パンジャブ州植林開発計画(II)	2003/3/28	人口増加に伴う食糧確保のための耕作地化に代表される森林の他用途への転用、薪炭材確保のための伐採、木材紙パルプ用としての伐採、放牧等が原因で森林が減少が続いている。この状況改善のため適切な土壌保全策および主に住民参加型の植林を行うことにより、森林面積の増加を図るもの。	
		ラジャスタン州植林・生物多様性保全計画	2003/3/28	アラバリ山地の砂漠化防止と生態系の状況改善、インディラ・ガンジー地区の運河、道路などのインフラ保護により、生物多様性の改善及び林産物の供給能力を強化し、雇用機会を増加させ貧困層の社会経済的状況を改善すること。	
		ハリヤナ州森林資源管理・貧困削減計画	2004/3/31	インド北部ハリヤナ州において、住民参加型の植林を通して森林を拡大・再生させるとともに、事業地域の貧困層の所得向上を支援し、貧困削減を図るもの。	
		タミールナド州植林計画(II)	2005/3/30	インド南部タミールナド州において、住民参加型の植林を通じて森林を拡大・再生させ、事業地域の貧困層の所得向上を支援し、貧困削減を図るもの。	
		カルナタカ州持続的森林資源管理・生物多様性保全計画	2005/3/30	インド南部カルナタカ州において、住民参加型の植林を通じて森林を拡大・再生させ、事業地域の貧困層の所得向上を支援するとともに、生物多様性の保全を図るもの。	
		オリッサ州森林セクター開発計画	2006/3/31	オリッサ州において、森林再生、防災および地域住民の生活水準の向上を図るため、住民およびNGOと対話を行いつつ、住民参加型の植林(海岸防災林を含む)、森林に依存せず生計を支える活動の支援、住民の森林管理能力を強化するための施策等を実施するもの。	
		スワン川総合流域保全計画	2006/3/31	ヒマチャル・プラデシュ州ウナ県のスワン川流域において、地方開発の促進、森林の再生および地域住民の生活水準の向上を図るため、住民参加型の植林等を通じた森林再生、農地保全等を行うもの。	
		トリプラ州森林環境改善・貧困削減計画	2007/3/30	トリプラ州において、森林再生、防災及び地域住民の生活水準の向上を図るため、住民参加型の植林、森林に依存せず生計を支える活動の支援、住民の森林管理能力を強化するための施策等を行うもの。	
		グジャラート州森林開発計画(フェーズ2)	2007/3/30	グジャラート州において、森林再生、防災及び地域住民の生活水準の向上を図るため、住民参加型の植林(海岸防災林を含む)、森林に依存せず生計を支える活動の支援、住民の森林管理能力を強化するための施策等を行うもの。	
		ウッタル・プラデシュ州参加型森林資源管理・貧困削減計画	2008/3/10	ウッタル・プラデシュ州において、植林を通じた住民参加型の森林保全管理及び生計改善活動等を行うもの。	
		中国	陝西省黄土高原植林事業計画	2001/3/30	砂漠化及び土壌流出の防止のため、陝西省黄土高原地域にて防護林、経済林、用材林の植林等を行うもの。
			山西省黄土高原植林事業計画	2001/3/30	砂漠化及び土壌流出の防止のため、山西省黄土高原地域にて防護林、経済林、用材林の植林等を行うもの。
			内蒙古自治区黄土高原植林事業計画	2001/3/30	砂漠化及び土壌流出の防止のため、内蒙古自治区黄土高原地域にて防護林、経済林の植林等を行うもの。
			寧夏回族自治区植林植草計画	2002/3/29	寧夏回族自治区北部で植林及び植草を行うことで地域の植生被覆の増加をはかり、同地域での砂漠化防止により生活環境及び自然環境の改善をはかるもの。
甘肅省植林植草計画	2003/3/28		甘肅省河西回廊地区で植林及び植草を行うことで地域の植生被覆の増加をはかり、同地域での砂漠化防止により生活環境及び自然環境の改善をはかるもの。		
内蒙古自治区植林植草計画	2003/3/28		内蒙古自治区南部黄河流域で植林及び植草を行うことで地域の森林率及び植生被覆の増加をはかり、同地域での砂漠化防止により生活環境及び自然環境の改善をはかるもの。		
江西省植林計画	2004/3/31		長江中流域の生態環境保全、土壌流出軽減等、森林の多面的機能の回復を図ることを目的として、江西省で防護林を主とする植林を行うもの。		
湖北省植林計画	2004/3/31		長江中流域の生態環境保全、土壌流出軽減等、森林の多面的機能の回復を図ることを目的として、湖北省で防護林を主とする植林を行うもの。		
四川省生態環境整備計画	2005/3/29		土壌流出軽減、生態系保全等を目的として、四川省で植林、植草等を行うもの。		
新疆ウイグル自治区伊寧市環境整備計画	2005/3/29		上下水道施設、熱供給施設等の整備及び都市生態防護林の植林を行い、同市の総合的な環境改善を図るもの。		
貴州省環境社会発展計画	2006/6/23		貴州省東部の貧困地域において、植林等の環境対策、上水道、医療施設の整備等の衛生対策、高等学校施設の整備を行うことにより、劣悪な環境、衛生、教育状況を改善するもの。		
河南省植林計画	2006/6/23		土壌流出軽減、生態系保全等を目的として、河南省で植林を行うもの。		
吉林省松花江流域生態環境整備計画	2007/3/30		吉林省松花江流域において、植林を行い、森林率の向上・草原の再生を図ることにより、森林の多面的機能の回復・砂漠化防止に寄与するもの。		
青海省生態環境整備計画	2007/12/1		青海省青海湖周辺において、植林・退化草地の改善及び関連施設(小規模砂防ダム、護岸工事等)の整備を行うことにより、森林・草原の多面的機能の回復、砂漠化の防止を図るもの。		
北アフリカ	チュニジア	総合植林計画	2000/2/4	チュニジア国内4地域において、森林整備及びそれに係るインフラ整備や植林及び森林セクター開発促進を行い、森林資源の持続的利用及び地域住民の経済的・社会的な生活条件の向上、生態系保全、水土保全効果等をはかるもの。	
		総合植林計画(II)	2008/3/25	チュニジアの5県(ベジャ県、ジェンドゥーバ県、ケフ県、シリアナ県、ザグアン県)において、植林、森林火災対策、地域住民の生計支援等の包括的な森林保全活動を行うことにより、森林再生やその持続的管理、同地域における自然環境改善を図るもの。	
	モロッコ	河川流域保全計画	2007/3/30	メラ川流域、アラール・エル・ファンダム上流域において、植林、小規模砂防工事、村落開発計画の実施及び地域住民の生活改善啓蒙活動等、森林保全に関する活動を行うもの。	

資料: 外務省業務資料

注: 平成20年(2008年)3月末日現在実施中のものである(平成20年3月末までにE/N締結した案件を含む)。

58 略称一覧

略 称 (アルファベット順)	名 称	
	英 語 名 称	日 本 語 名 称 等
AFP	Asia Forest Partnership	アジア森林パートナーシップ
COP	Conference of the Parties	締約国会議(気候変動枠組条約、生物多様性条約等)
CPF	Collaborative Partnership on Forests	森林に関する協調パートナーシップ
CSD	Commission on Sustainable Development	持続可能な開発委員会
FAO	Food and Agriculture Organization of the United Nations	国連食糧農業機関
FSC	Forest Stewardship Council	森林管理協議会
IFF	Intergovernmental Forum on Forests	森林に関する政府間フォーラム
IPF	Intergovernmental Panel on Forests	森林に関する政府間パネル
ITTO	International Tropical Timber Organization	国際熱帯木材機関
JBIC	Japan Bank for International Cooperation	国際協力銀行
JICA	Japan International Cooperation Agency	国際協力機構
JIFPRO	Japan International Forestry Promotion and Cooperation Center	国際緑化推進センター
NGO	Non-Governmental Organization	非政府組織
NPO	Nonprofit Organization	民間非営利組織
PEFC	Programme for the Endorsement of Forest Certification schemes	PEFC森林認証プログラム
UNCED	United Nations Conference on Environment and Development	国連環境開発会議
UNEP	United Nations Environment Programme	国連環境計画
UN-ECE	United Nations Economic Commission for Europe	国連欧州経済委員会
UNFF	United Nations Forum on Forests	国連森林フォーラム
UNGASS	Special Session of the United Nations General Assembly to Review and Appraise the Implementation of Agenda 21	環境と開発に関する国連特別総会
WSSD	World Summit on Sustainable Development	持続可能な開発に関する世界首脳会議
WTO	World Trade Organization	世界貿易機関
WWC	World Water Council	世界水会議

59 国有林野事業における主要事業量

		平成3年度	8	13	14	15	16	17	18
収穫量 (千m ³)	総 数	10,117	6,993	4,525	4,643	4,861	4,860	5,744	5,990
	立木販売	6,021	5,034	3,868	3,827	3,934	3,778	3,796	3,320
	丸太販売	4,096	1,959	657	816	927	1,082	1,948	2,670
更新面積 (ha)	総 数	95,012	64,317	27,981	21,502	21,328	15,719	11,830	13,204
	人工造林	9,899	5,331	4,029	2,830	3,924	3,502	2,992	4,643
	天然更新	85,113	58,986	23,952	18,672	17,404	12,217	8,838	8,561
林 道 (km)	新 設	517	160	82	44	63	56	138	130
	改 良	524	1,526	643	647	1,598	635	653	712
治 山 (百万円)	国有林治山	20,199	28,118	44,336	38,809	33,863	20,195	20,615	24,490
	災害復旧	6,507	9,924	21,513	13,655	17,064	14,657	24,317	11,818

資料：林野庁業務資料

注1：収穫量は、立木材積であり、内部振替並びに分収造林及び分収育林民収分を含む。

2：丸太販売は、丸太を生産した時点で年度区分した。

3：更新面積には、森林災害復旧造林事業費による実行分を含む。

4：人工造林には、新植のほか改植、人工下植を含む。

5：災害復旧は、平成8年度までは国有林野内直轄施設災害復旧事業及び治山災害関連緊急事業の額であり、平成9年度以降は特殊地下壕対策事業を含む。

6：総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入によるものである。

60 保護林の現況

種 類	目 的	箇所数	面積(千ha)
森林生態系保護地域	森林生態系の保存、野生動植物の保護、生物遺伝資源の保存	28 (5)	494 (122)
森林生物遺伝資源保存林	森林生態系を構成する生物全般の遺伝資源の保存	12	35
林木遺伝資源保存林	林業樹種と希少樹種の遺伝資源の保存	324	9
植物群落保護林	希少な高山植物、学術上価値の高い樹木群等の保護	363 (1)	181 (1)
特定動物生息地保護林	希少化している野生動物とその生息地・繁殖地の保護	36	21
特定地理等保護林	岩石の浸食や節理、温泉噴出物、氷河跡地等の特殊な地形・地質の保護	35 (1)	35 (5)
郷 土 の 森	地域の自然・文化のシンボルとしての森林の保存	35 (1)	4 (1)
合 計		833 (8)	778 (128)

資料：農林水産省「平成18年度国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」

注1：平成19年4月1日現在の数値である。

2：合計と内訳の計が一致しないのは四捨五入によるものである。

3：() は、平成18年度に新たに設定または拡張した箇所内で内書である

61 森林生態系保護地域の概要

名 称	面積 (千ha)	特 徴
ひだかさんみやくちゅうおうぶ 日高山脈中央部	66	日高側山地は針葉樹林及び針広混交林、十勝側は広葉樹林であり、中腹以上はダケカンバ帯、ハイマツ帯に至る
いざりだけしゅうへん 漁岳周辺	3	大雪山等道央のエゾマツ・トドマツ林と渡島半島のブナ林との移行地域として重要で、ブナを欠く広葉樹林から針広混交林、さらにはダケカンバ帯に至る
だいせつざんちゅうべつがわげんりゅうぶ 大雪山忠別川源流部	11	下部のエゾマツ・トドマツの北方針葉樹林からダケカンバ帯、ハイマツ帯に至る
しれとこ 知床	46	下部のエゾマツ・トドマツの北方針葉樹林からダケカンバ帯、ハイマツ帯に至る
かりばさんちすつきがわげんりゅうぶ 狩場山地須築川源流部	3	下部はブナ天然林の集団としての北限、上部はダケカンバ帯、ハイマツ帯に至る
おそれざんさんち 恐山山地	6	ヒノキアスナロ及びブナ等を中心として土地的・気候的極相を示す冷温帯森林
はやちねやましゅうへん 早池峰山周辺	8	ブナ、ヒノキアスナロ等の天然林とアカエゾマツの南限
しらかみさんち 白神山地	17	ブナを中心とした冷温帯落葉広葉樹林
かっこんだがわ・たまがわげんりゅうぶ 葛根田川・玉川源流部	9	下部はブナ極相林、上部はオオシラビソを主とする天然林
くりこまやま・とちがもりやましゅうへん 栗駒山・栃ヶ森山周辺	16	ブナの天然林、山頂付近はミヤマナラとハイマツの低木混交林
あさひさんち 朝日山地	70	低地のブナ～高地のハイマツまで日本海側多雪山地の植生分布
いいでやましゅうへん 飯豊山周辺	29	ブナ帯から高山帯までの典型的な垂直分布
あずまやましゅうへん 吾妻山周辺	12	顕著な亜高山帯針葉樹林とブナ林、シラベの北限
とねがわげんりゅうぶ・ひうちがたけしゅうへん 利根川源流部・燧ヶ岳周辺	20	ブナ、オオシラビソ等の天然林、ミヤマナラ等の多雪地広葉樹低木林
おくあいづ 奥会津	84	オオシラビソ等の亜高山性針葉樹林、ブナ、ミズナラ林等の冷温帯落葉広葉樹林、コナラ、アカシデ等の中間温帯林により構成
さぶるやましゅうへん 佐武流山周辺	13	日本海側の典型的な豪雪地帯のブナ林、亜高山帯はオオシラビソ、シラベ、キタゴヨウの針葉樹林
おがさわらしょうとう 小笠原諸島	6	亜熱帯植生、山地にシマホルトノキ、オガサワラグワ等の湿性高木林
みなみ なんぶてかりだけ 南アルプス南部光岳	5	ブナからハイマツ（分布の南限）に至る垂直分布
ちゅうおう きそこまがたけ 中央アルプス木曾駒ヶ岳	4	下部のヒノキ林から亜高山帯のコメツガ、オオシラビソ、シラベの亜高山帯針葉樹林、さらには山頂付近のハイマツ帯に至る
きた かなきどがわ・たかせがわげんりゅうぶ 北アルプス金木戸川・高瀬川源流部	8	山地帯のクロベ、亜高山帯のシラビソ、オオシラビソ、ダケカンバ、高山帯のコケモモ、ハイマツ等の本州内陸型の代表的な植生
はくさん 白山	15	ブナ、ハイマツ、オオシラビソ（分布の西限）
おおすぎだに 大杉谷	1	スギ、タブ、ブナ、トウヒ等の垂直分布
だいせん 大山	3	日本海型ブナ林地帯、亜高山帯のダイセンキョロボク群落
いしづちさんけい 石鎚山系	4	暖温帯性のウラジロガシから亜寒帯性のシラベまでの垂直分布
そぼさん・かたむきやま・おおくえやましゅうへん 祖母山・傾山・大崩山周辺	6	アカガシ等の常緑広葉樹からツガ、ブナ、ヒメコマツ等の垂直分布
いなおだけしゅうへん 稲尾岳周辺	1	シイを中心とする暖温帯常緑広葉樹林帯に属し、山頂には一部モミ、ツガが混生
やくしま 屋久島	15	世界的に稀な高齢ヤクスギ群とヤクシマチシダ等多数の固有種を含むシダ類や豊富な蘚苔類に特徴づけられる植生
いりおもてじま 西表島	12	スダジイの優占する常緑広葉樹林、ガジュマル等の群落、メヒルギ等のマングローブ林
合 計	494	

資料：林野庁業務資料

注1：平成19年4月1日現在の数値である。

注2：合計と内訳の計が一致しないのは四捨五入によるものである。

62 レクリエーションの森の整備状況及び利用者数

区 分	箇所数	面 積 (千ha)	利用者数 (百万人)								代 表 地
			平成 3年度	8	13	14	15	16	17	18	
自然休養林	90	104	37	33	27	28	29	28	27	27	たかおさん、あかさわ、やくしま 高尾山、赤沢、屋久島
自然観察教育林	171	33	24	20	19	19	18	18	17	16	はこね、なるといざわ、かみこうち 箱根、軽井沢、かみこうち
風景林	561	184	64	49	48	48	47	46	42	45	ましゅう、あらしやま、みやじま 摩周、嵐山、宮島
森林スポーツ林	67	9	0	2	1	2	1	1	1	1	かぜのまつばら、おうぎのせん、にしのうら 風の松原、扇の仙、西之浦
野外スポーツ地域	226	51	57	53	39	37	35	32	34	32	みなみざおう、たんぼら、なえぼ 南蔵王、玉原、苗場
風致探勝林	123	22	5	19	22	22	22	21	21	18	そうんきょう、こまがたけ、ほだか 層雲峡、駒ヶ岳、穂高
合 計	1,238	404	187	176	156	156	152	147	143	139	

資料：農林水産省「平成18年度国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」

注1：箇所数及び面積は平成19年4月1日現在の数値であり、利用者数は平成18年度の数値である。

2：合計と内訳の計が一致しないのは四捨五入によるものである。

63 遊々の森等の箇所数及び面積

	合 計	指 定 年 度					
		平成14年度	15	16	17	18	
遊 々 の 森	箇所数	127	19	52	22	14	20
	面積 (ha)	5,398	988	2,144	956	791	519
ふれあいの森	箇所数	151	9	15	8	2	4
	面積 (ha)	4,672	273	247	88	162	▲ 157
木の文化を支える 森づくり	箇所数	18	5	7	3	1	3
	面積 (ha)	548	69,664	51	26	1	12

資料：林野庁業務資料

注1：「木の文化を支える森づくり」において合計と内訳の計が一致しないのは、平成17年度に1件の契約解除があったことによるものである。

2：「ふれあいの森」の平成18年度の面積減は区域の見直し等による減少。

64 国有林野事業の収支

(単位：億円)

収 入									支 出								
科 目	平成3 年度	8	13	14	15	16	17	18	科 目	平成3 年度	8	13	14	15	16	17	18
林産物等収入	1,729	886	256	224	212	207	215	237	人 件 費	2,527	1,850	1,102	987	904	831	760	733
林野等売払代	340	600	223	193	179	198	140	99	森 林 整 備 費	531	336	307	247	298	375	399	453
貸付料等収入	111	122	90	88	82	80	76	74	事 業 費	408	264	178	165	167	151	148	147
一般会計より受入	269	569	799	841	995	1,125	1,106	1,734	利 子 ・ 償 還 金	2,312	3,019	1,019	1,443	1,774	2,008	2,184	2,354
治山勘定より受入	135	159	140	139	137	136	134	-	交 付 金 等	111	86	74	72	68	68	65	56
地方公共団体工事費 負担金取入	-	-	-	-	-	-	-	37	治 山 事 業 費	-	-	-	-	-	-	-	459
借 入 金	2,988	3,145	1,182	1,481	1,641	1,715	1,909	2,086	合 計	5,888	5,555	2,679	2,914	3,211	3,434	3,555	4,202
新規借入金	2,168	2,048	410	300	179	0	0	0									
借換借入金	820	1,097	772	1,181	1,462	1,715	1,909	2,086									
合 計	5,571	5,482	2,690	2,966	3,246	3,461	3,580	4,268									

資料：林野庁業務資料

注1：合計と内訳の計が一致しないのは四捨五入によるものである。

2：H18年度の「貸付料等収入」には「前年度剰余金受入」を含む。

3：H18年度から「国有林野事業特別会計法の一部を改正する法律」（平成18年法律第9号）の規定により勘定区分が廃止された。

これにより、旧治山勘定のうち国が行う直轄治山事業を国有林野事業特別会計で経理している。

65 林野庁、森林管理局のホームページアドレス

機 関 名	ホームページアドレス
林 野 庁	http://www.rinya.maff.go.jp/
国 有 林	http://www.kokuyurin.maff.go.jp/
北海道森林管理局	http://www.hokkaido.kokuyurin.go.jp/kyoku/
東北森林管理局	http://www.tohoku.kokuyurin.go.jp/
関東森林管理局	http://www.kanto.kokuyurin.go.jp/
中部森林管理局	http://www.chubu.kokuyurin.go.jp/
近畿中国森林管理局	http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/kyoku/
四国森林管理局	http://www.shikoku.kokuyurin.go.jp/
九州森林管理局	http://www.kyusyu.kokuyurin.go.jp/

66 林業等に対する金融機関別の貸付残高

(単位:十億円)

		平成3 年度	8	13	14	15	16	17	18	対前年増減 (▲)率(%)
総 計	合 計	5,226 (100)	5,471 (100)	4,273 (100)	3,891 (100)	3,647 (100)	3,411 (100)	3,132 (100)	3,015 (100)	▲ 4
	一般金融機関	3,443 (66)	3,647 (67)	2,639 (62)	2,309 (59)	2,120 (58)	1,978 (58)	1,849 (59)	1,791 (59)	▲ 3
	系統金融機関	481 (9)	455 (8)	327 (8)	308 (8)	285 (8)	256 (8)	234 (7)	225 (7)	▲ 4
	政策金融機関	1,302 (25)	1,369 (25)	1,307 (31)	1,274 (33)	1,242 (34)	1,177 (35)	1,049 (33)	999 (33)	▲ 5
林 業	小 計	1,341 (100)	1,350 (100)	1,214 (100)	1,182 (100)	1,156 (100)	1,083 (100)	1,036 (100)	991 (100)	▲ 4
	一般金融機関	244 (18)	242 (18)	181 (15)	161 (14)	165 (14)	148 (14)	144 (14)	135 (14)	▲ 6
	系統金融機関	133 (10)	108 (8)	71 (6)	73 (6)	63 (5)	51 (5)	48 (5)	45 (5)	▲ 6
	政策金融機関	964 (72)	1,000 (74)	962 (79)	948 (80)	928 (80)	884 (82)	844 (81)	811 (82)	▲ 4
木 材 ・ 木 製 品 製 造 業	小 計	3,886 (100)	4,121 (100)	3,059 (100)	2,709 (100)	2,491 (100)	2,328 (100)	2,096 (100)	2,024 (100)	▲ 3
	一般金融機関	3,200 (82)	3,405 (83)	2,457 (80)	2,148 (79)	1,955 (78)	1,830 (79)	1,705 (81)	1,656 (82)	▲ 3
	系統金融機関	348 (9)	347 (8)	256 (8)	235 (9)	222 (9)	205 (9)	186 (9)	180 (9)	▲ 3
	政策金融機関	338 (9)	369 (9)	346 (11)	326 (12)	314 (13)	293 (13)	205 (10)	188 (9)	▲ 8

資料：一般金融機関は「金融経済統計月報」（日本銀行調査統計局）、商工組合中央金庫、農林中央金庫は各金庫の資料、農林漁業金融公庫、国民生活金融公庫、中小企業金融公庫、沖縄振興開発金融公庫は各公庫の資料、日本政策投資銀行は同銀行の資料による。

注1：各年度末現在の数値である。

2：系統金融機関とは、商工組合中央金庫、農林中央金庫である。

3：政策金融機関とは、農林漁業金融公庫、国民生活金融公庫、中小企業金融公庫、沖縄振興開発金融公庫、日本政策投資銀行である。

4：（ ）は、合計、小計に対する割合（%）である。

5：平成17年度以降の政策金融機関には、日本政策投資銀行の貸付残高を含まない。

6：総計と内訳の計が一致しないのは四捨五入によるものである。